T-ブロック ガーデンヌック Style1~5

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■梱包明細書　必要数

1 屋根材　必要数　Style1～4 3梱包　Style5 2梱包

名　称	員数
屋根材	20

2 屋根パネル（大）必要数　Style1～4 2梱包

名　称	員数
屋根パネル（大）	1

3 屋根パネル（小）必要数　Style1～4 2梱包

名　称	員数
屋根パネル（小）	1

4 母屋・棟木セット

名　称	員数	
	Style1～4	Style5
棟木	1	1
母屋 A	2	1
母屋 B	2	1
鼻隠し	1	1

5 妻壁セット

名　称	員数	
	Style1～4	Style5
妻壁（右）	1	1
妻壁（中）	1	―
妻壁（左）	1	1

6 屋根化粧材セット

名　称	員数
屋根化粧材 A	2
屋根化粧材 B	2
屋根化粧材 C	1

7 屋根部品セット

名　称	員数	
	Style1～4	Style5
棟木ー妻壁固定金具	6	4
コーナー部固定金具	4	4
母屋ー妻壁固定金具	4	―
母屋固定金具	3	2
金具おさえ	7	6
アンカーボルト　W3/8基礎ボルト	7	6
屋根固定ナット　W3/8六角ナット	7	6
屋根固定ワッシャー　W3/8平座金	7	6
屋根固定バネ座金　W3/8バネ座金	7	6
棟木ー妻壁固定金具組付ネジ　φ3.1×16サラ木ネジ	12	8
棟木固定ネジ　φ3.1×16サラ木ネジ	12	8
屋根パネル組付ネジ　φ4×40サラタッピング1種	54	22
屋根化粧材A・B組付ネジ　φ4.1×63サラ木ネジ	8	8
屋根化粧材C組付ネジ　φ4×40サラタッピング1種	4	4
屋根部材組付ネジ　φ4×20サラタッピング1種	57	32

7 屋根部材セット　つづき

名　称	員数	
	Style1～4	Style5
屋根材組付用釘　φ1.5×16釘	190	190
屋根天面部組付用釘　φ1.7×22釘	50	50
止水コーキング材 333ml	1	1
取付説明書	1	1

8 水切り材セット

名　称	員数	
	Style1～4	Style5
前後部水切り材	2	2
側面部水切り材	2	2
前部・側面部水切り材組付ネジ　φ4×40サラタッピング1種	14	14
後部水切り材組付ネジ　φ4×12ナベピアス	8	8

9 ドア枠セット

名　称	員数	
	1型用	2型用
ドア枠1型用	1	―
ドア枠2型用	―	1
L アングル	2	2
隙間隠し材	1	3
ヒンジ	2	2
目隠しシール	8	8
鍵受け穴隠しシール	―	1
L アングル取付ネジ　φ4X25ナベセルフタップアンカー（予備2ケ入）	22	22
L アングル取付平座金　呼び径4φ12（予備2ケ入）	22	22
ドア枠ーL アングル取付ネジ　φ4×19ナベピアスネジ	10	10
ドア枠ーヒンジ取付ネジ　φ4×14サラタッピング3種	8	8
ドアーヒンジ取付ネジ　φ4×14サラタッピング3種	8	―
ドアーヒンジ取付ネジ　φ4×40サラタッピング1種	―	8

10 ドアセット

名　称	員数	
	1型	2型
ドア1型	1	―
ドア2型	―	1
ドア化粧材 A	―	1
ドア化粧材 B	―	2
化粧材取付ネジ　φ4×30サラタッピング1種	―	6

■梱包明細書　つづき

11 ドア2型用錠セット

名　　称	員数
錠機構部（錠機構部カバー付）	1
レバー	1セット
錠カバー	1セット
レバーカバー	1セット
錠受け	1
鍵	3
錠取付ネジ　　φ4×20サラタッピング1種	2
錠カバー取付ネジ　　M4×25サラ小ネジ	2
レバーカバー取付ネジ　M4×25サラ小ネジ	2
錠受け固定ネジ　　φ4×20サラタッピング3種	2

12 窓枠セット　オプション

※Style1～4の場合、窓枠1型が標準装備されています。

名　　称	員数	
	1型	2型
窓枠1型（開閉機能なし）	1	ー
窓枠2型（開閉機能付き）	ー	1
窓位置決め金具	2	2
金具取付ネジ　　φ4×20トラスタッピング1種	4	4
すき間埋めクッション材　L=3000	1	1

13 雨樋セット　オプション

名　　称	員数
雨樋	1
雨樋キャップ（右）	1
雨樋キャップ（左）	1
雨樋キャップ取付ネジ　M3×10ナベ小ネジ	4
雨樋取付ネジ　　φ4×12ナベピアス	7
チェーン（取付部品・オモリ付き）	1
止水コーキング材	1

14 棚金具セット　オプション

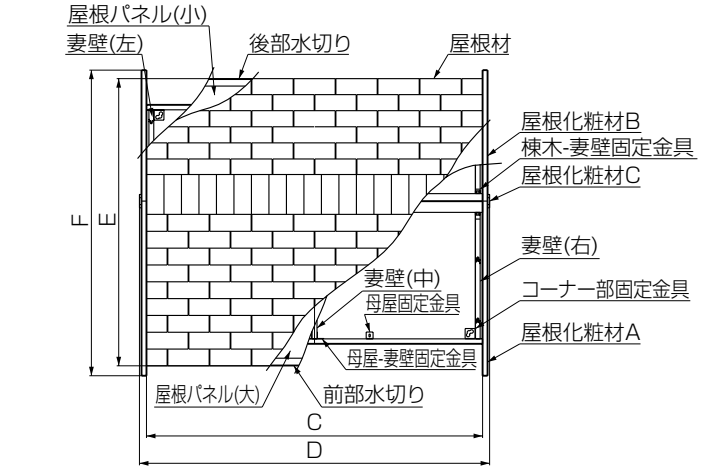
名　　称	員数
埋め込み金具	4
棚取付パネル	2
棚取付パネル組付ネジ　M5×12トラス小ネジ	8

15 棚板セット　オプション

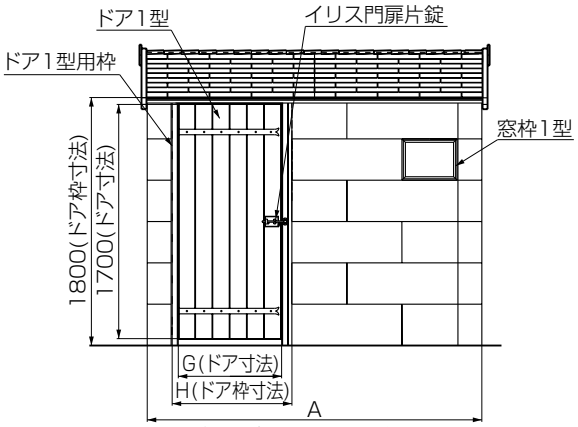
名　　称	員数
棚用木材	2
棚取付ブラケット（右）	1
棚取付ブラケット（左）	1
棚固定ネジ　φ4×30トラスタッピング1種	8

1．意匠図および各部名称

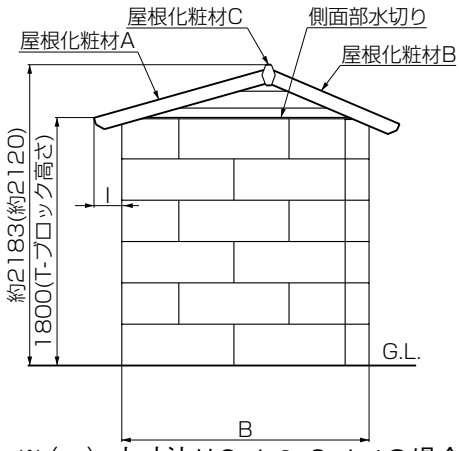
1ー1　Style1～Style4



寸法＼スタイル		Style 1	Style 2	Style 3	Style 4
A	T-ブロック ラテル	2422	2022	2422	2022
	T-ブロック ウォルズ	2432	2032	2432	2032
B	T-ブロック ラテル	1756	1756	1356	1356
	T-ブロック ウォルズ	1766	1766	1366	1366
C		2440	2040	2440	2040
D		2542	2142	2542	2142
E		2084	2084	1681	1681
F		2218	2218	1815	1815
G		810	810	810	810
H	ドア1型使用時	939	939	939	939
	ドア2型使用時	942	942	942	942
I	T-ブロック ラテル	222	222	220	220
	T-ブロック ウォルズ	217	217	215	215

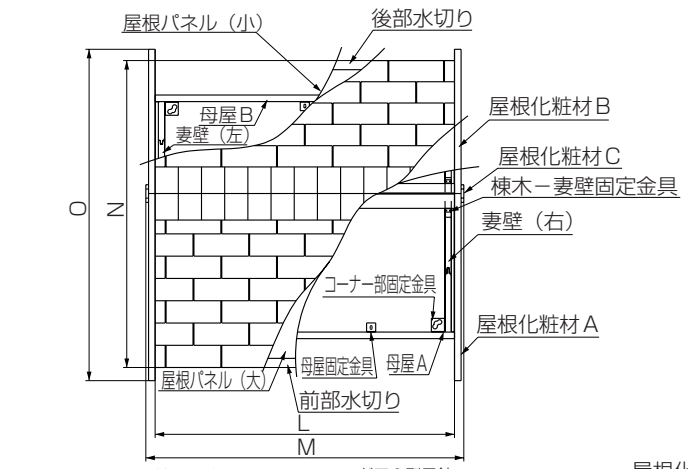


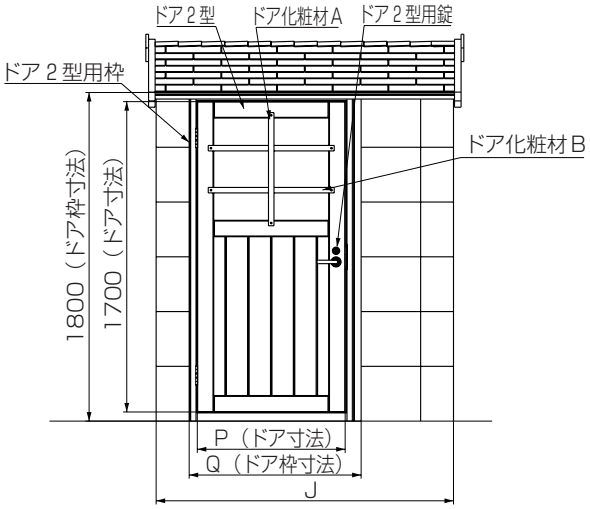
ガーデンヌック前面図



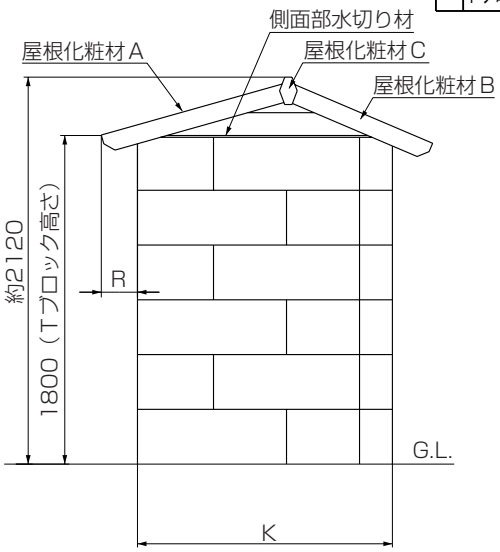
※（　）内寸法はStyle3、Style4の場合

1−2 Style5





ガーデンヌック前面図

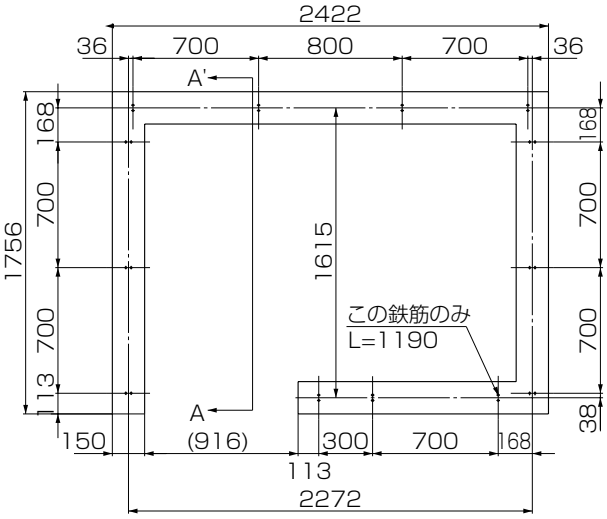


寸法 ＼ スタイル		Style 5
J	T-ブロック ラテル	1622
	T-ブロック ウォルズ	1632
K	T-ブロック ラテル	1356
	T-ブロック ウォルズ	1366
L		1640
M		1742
N		1681
O		1815
P		810
Q	ドア1型使用時	939
	ドア2型使用時	942
R	T-ブロック ラテル	220
	T-ブロック ウォルズ	215

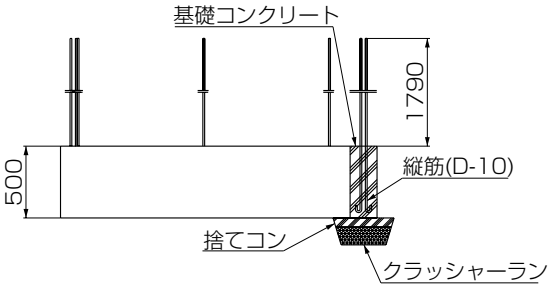
2. 基礎寸法図

<注 意>

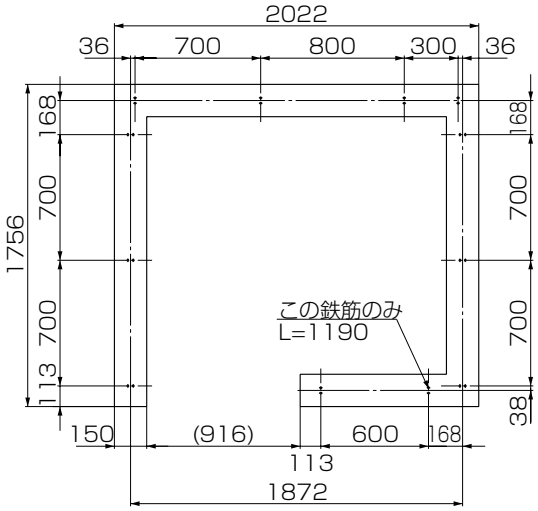
● 基礎についての詳細は、「Tーブロック ラテル＆ウォルズ取付説明書（取説コードB047）」を参照してください。



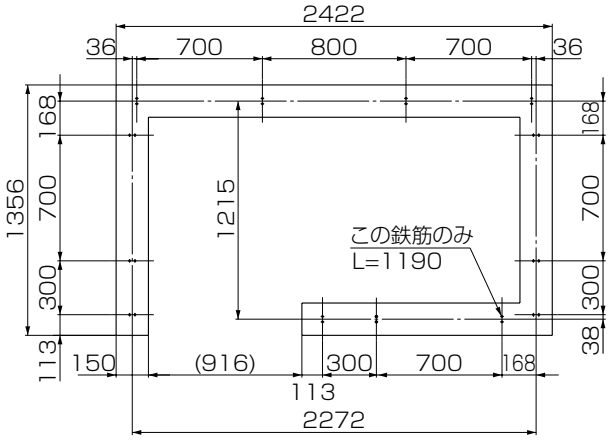
Style 1



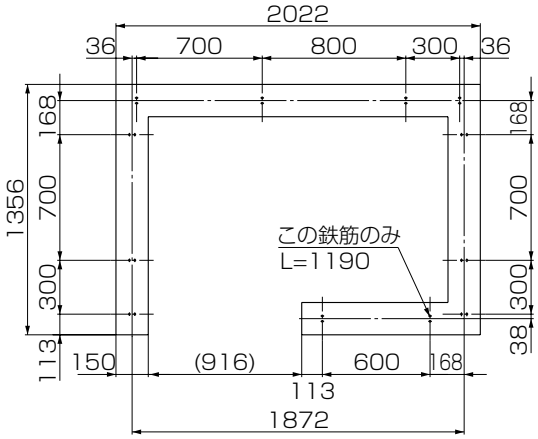
A－A'断面図



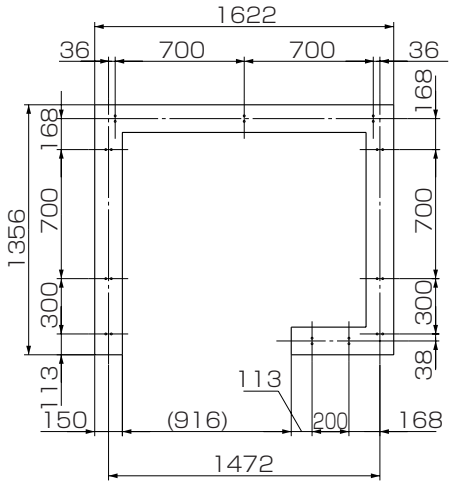
Style 2



Style 3



Style 4



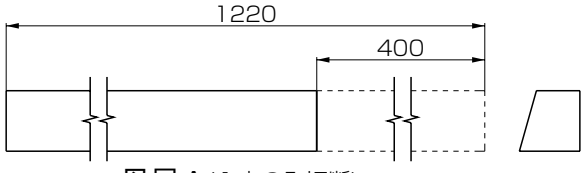
Style 5

3．施工の前に

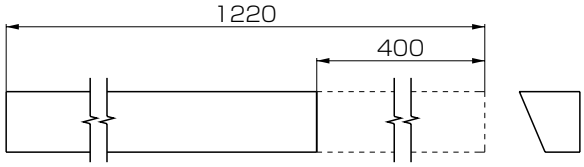
<注 意>

- ガーデンヌックは、屋根の切詰め加工を行うことで、Style2,Style3,Style4の各サイズに対応することができます。切詰めを行う場合は下記内容にしたがってください。（Style1およびStyle5は加工の必要ありません。）
- Style4については間口方向および、奥行き方向両方の加工が必要になります。3ー1・3ー2　両方の作業を行ってください。

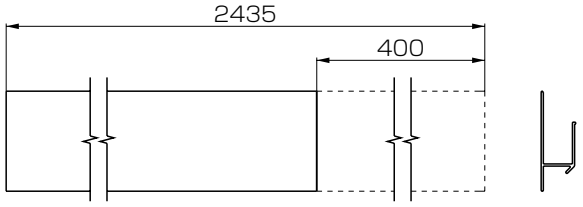
3ー1　間口方向の切詰め（Style 2・Style 4）



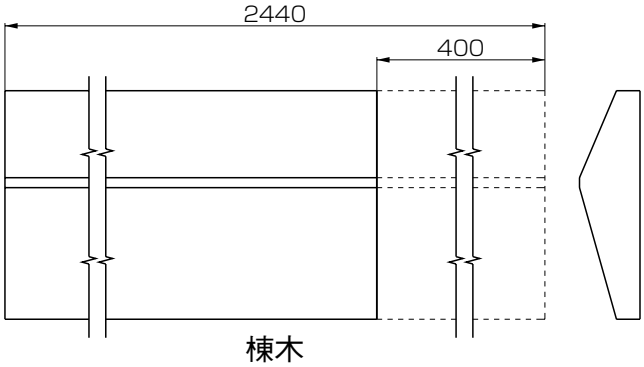
母屋A（1本のみ切断）



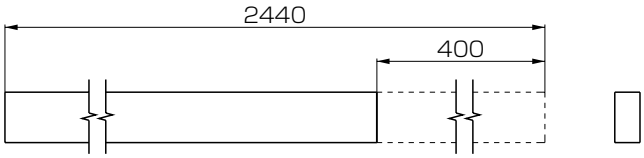
母屋B（1本のみ切断）



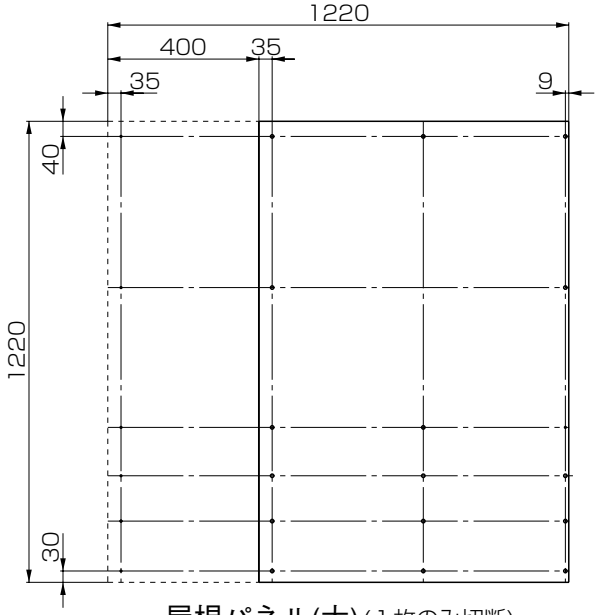
前後部水切り材（2本とも切断）



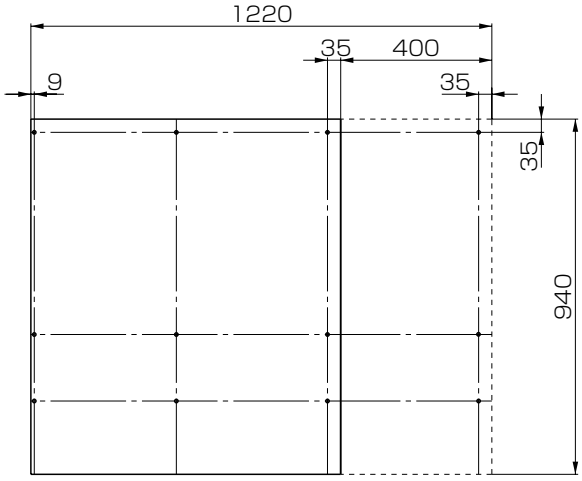
棟木



鼻隠し



屋根パネル(大)（1枚のみ切断）



屋根パネル(小)（1枚のみ切断）

※――――― 部で切断してください。

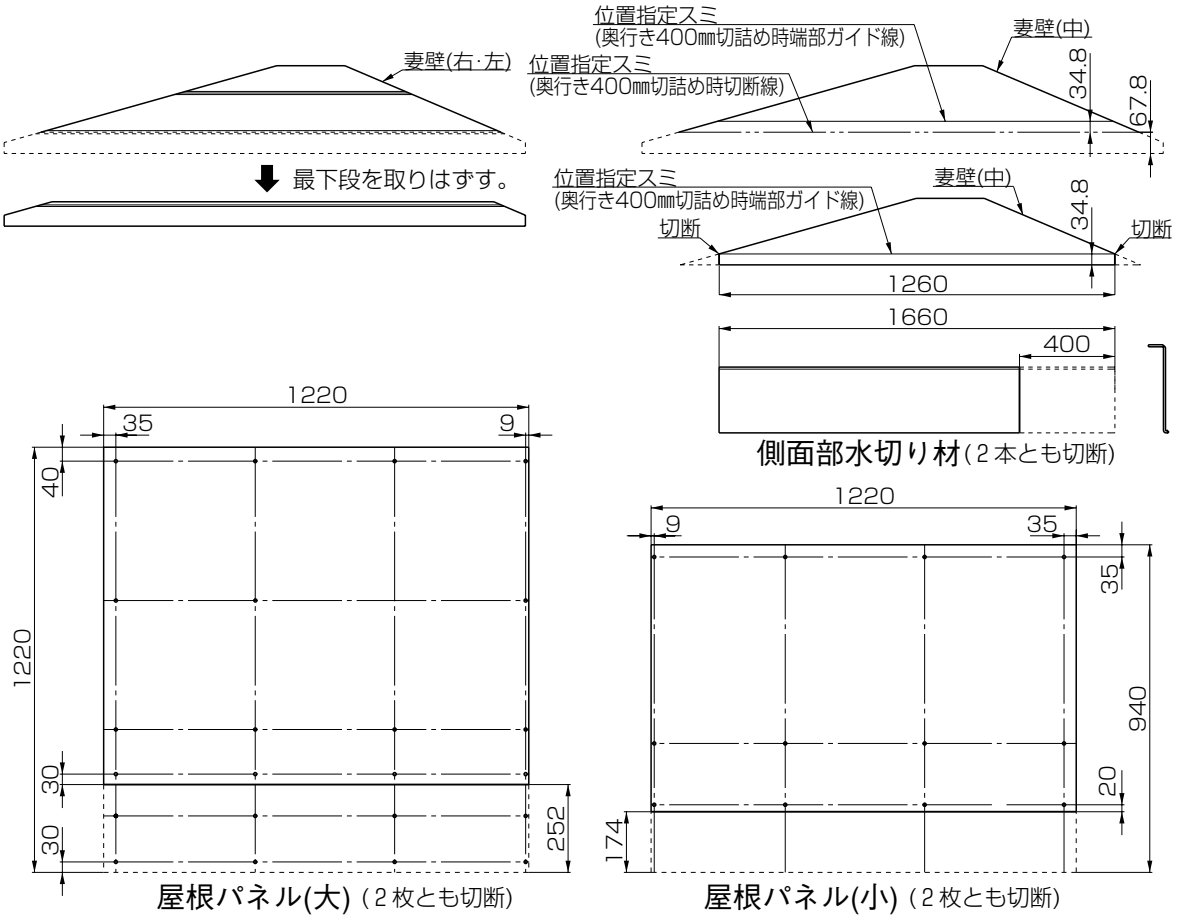
❶ 母屋Aの2本のうち1本を400mm切落としてください。
❷ 同じく、母屋Bの2本のうち1本を400mm切落としてください。
❸ 棟木,鼻隠し,前後部水切り材を400mm切落としてください。
❹ 屋根パネル（大）の2枚のうち1枚を上図にしたがって切断してください。
❺ 同じく、屋根パネル（小）の2枚のうち1枚を上図にしたがって切断してください。

<注 意>

- 屋根パネル（大・小）には方向性があります。誤った場所を切断しないよう、十分にご注意ください。

3．施工の前に　つづき

3ー2　奥行き方向の切詰め（Style 3・Style 4）



※――――部で切断してください。

❶ 妻壁（右）および妻壁（左）の、3段に分かれているうちの1つの部材を上図のように取りはずしてください。

＜注 意＞

● 妻壁（右・左）はステープルにて仮固定されていますので、ペンチまたはニッパー等を使用しステープルを取除いた後、部材を取りはずしてください。

❷ 妻壁（中）を上図のように位置指示ケガキ線にしたがって切断してください。

❸ 上図のように位置指示ケガキ線を目安にして、妻壁（中）の両端を切落としてください。

❹ 完成した妻壁（中）を目安に、妻壁（右）および（左）の両端部を切落としてください。

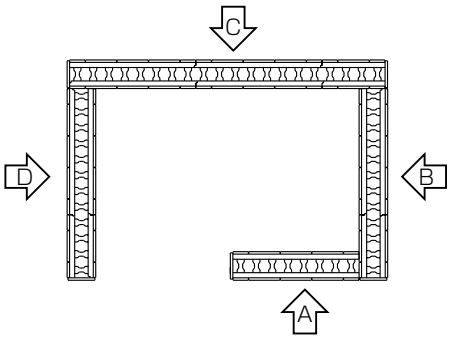
❺ 上図のように、側面部水切り材を切断してください。

❻ 屋根パネル（大）の2枚とも、上図にしたがって切断してください。

❼ 同じく、屋根パネル（小）の2枚とも、上図にしたがって切断してください。

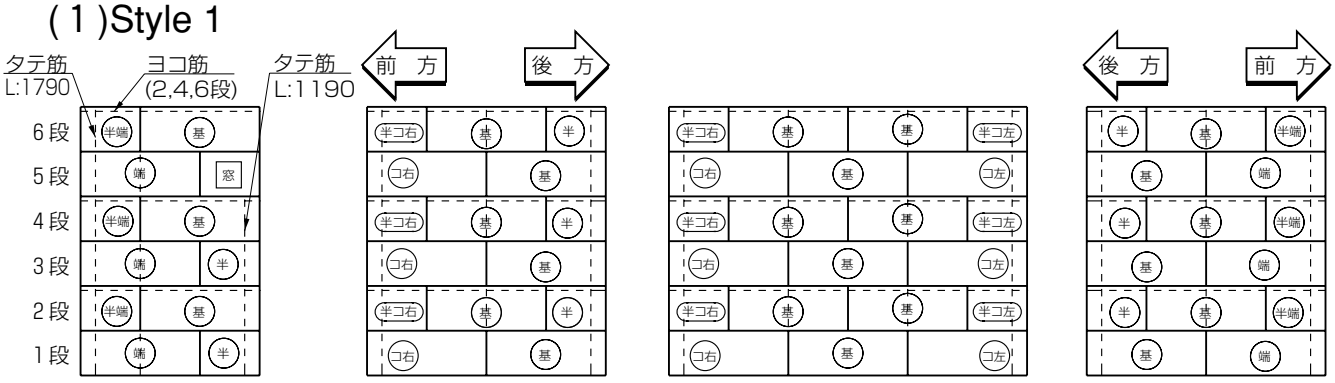
4．Tーブロックの施工

4ー1　ブロックの割付け



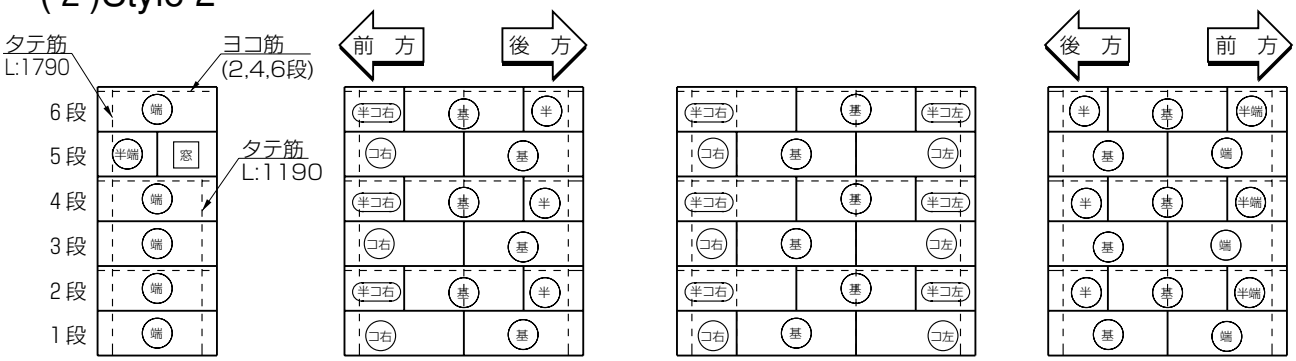
基・・・・・基本ブロック
半・・・・・半切りブロック
端・・・・・基本ブロック+端部パネル
半端・・・・・半切りブロック+端部パネル
コ右・・・・・基本コーナーブロック右+端部パネル
半コ右・・・・・半切りコーナーブロック右+端部パネル
コ左・・・・・基本コーナーブロック左+端部パネル
半コ左・・・・・半切りコーナーブロック左+端部パネル
窓・・・・・窓枠

(1)Style 1



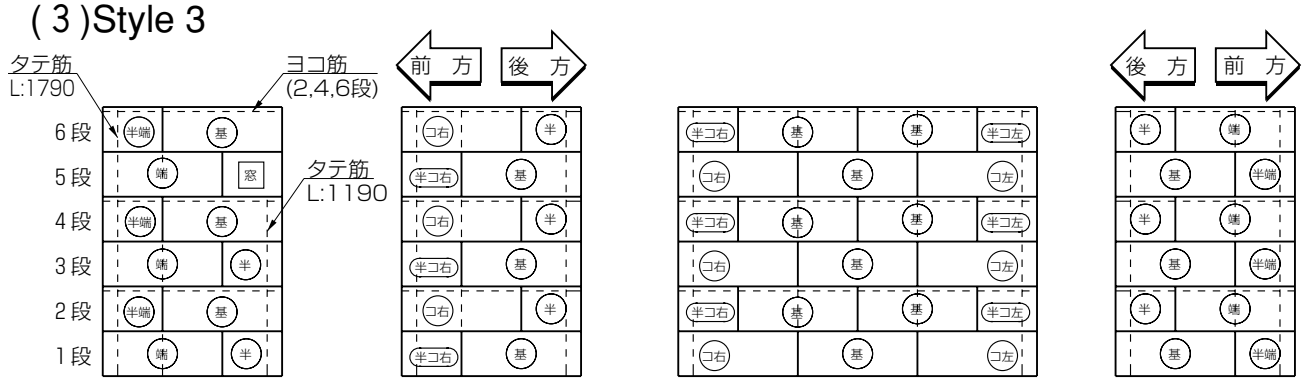
矢視Ａ(前面)　矢視Ｂ(側面)　矢視Ｃ(背面)　矢視Ｄ(側面)

(2)Style 2



矢視Ａ(前面)　矢視Ｂ(側面)　矢視Ｃ(背面)　矢視Ｄ(側面)

(3)Style 3

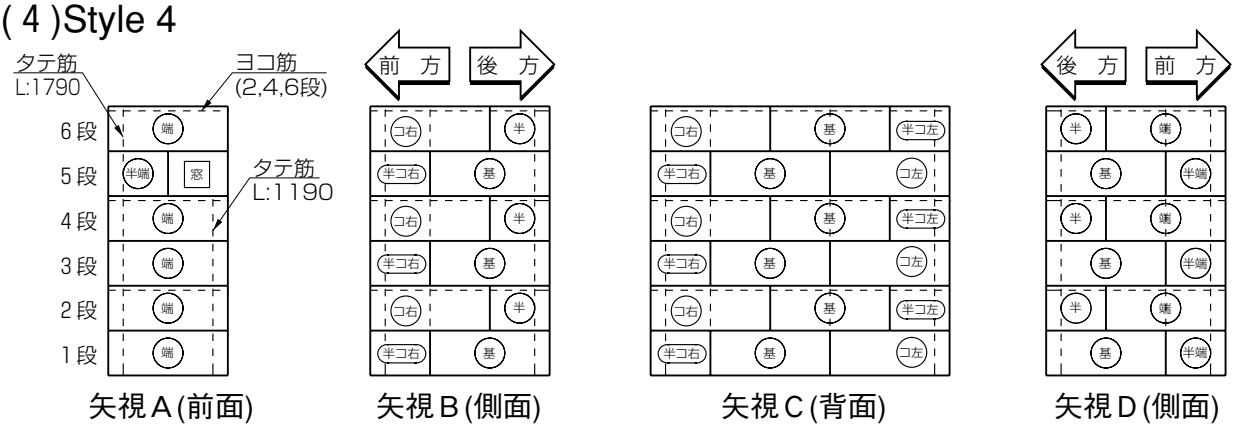


矢視Ａ(前面)　矢視Ｂ(側面)　矢視Ｃ(背面)　矢視Ｄ(側面)

4. Tーブロックの施工　つづき

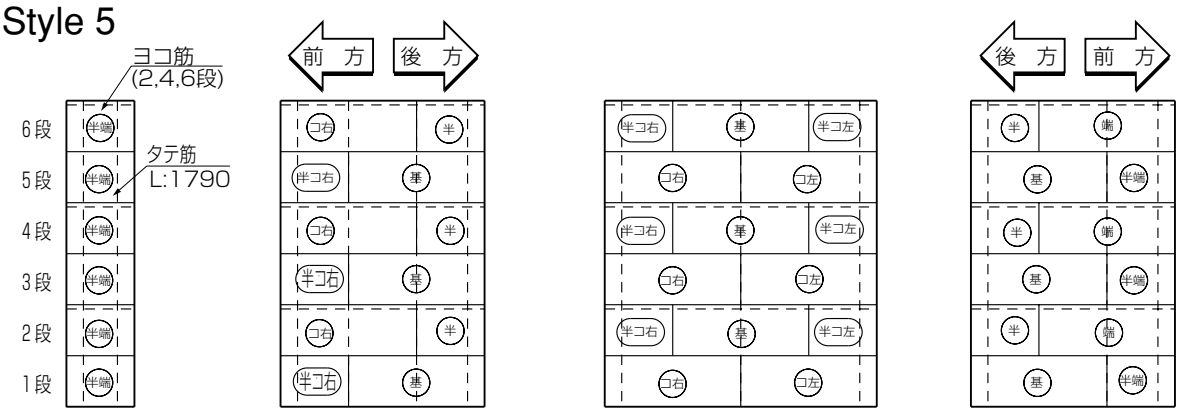
4ー1　ブロックの割付け　つづき

(4)Style 4



矢視A(前面)　矢視B(側面)　矢視C(背面)　矢視D(側面)

(5)Style 5



矢視A(前面)　矢視B(側面)　矢視C(背面)　矢視D(側面)

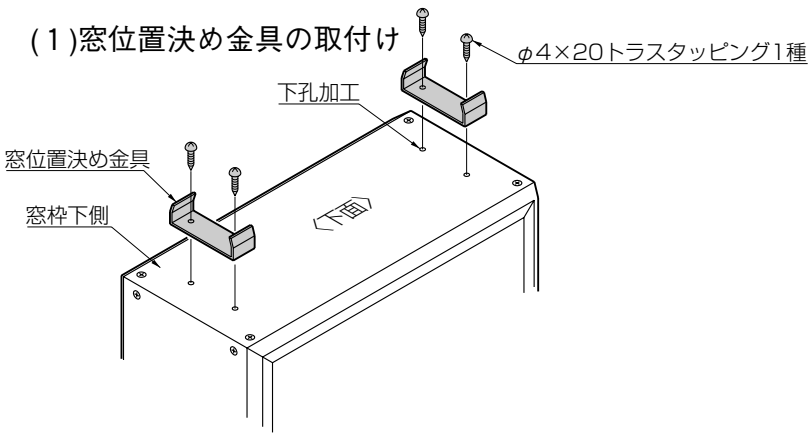
4ー2　4段目までのブロックを施工する上での注意事項

※Style5の場合は6段目まで適応してください。

- ブロックを施工する際、タテ筋は2筋ずつ配筋してください。
- 突き合わせるブロックは必ず横筋＋モルタルで接続してください。（2,4,6段目）
- ブロックの端部パネルの取付けは、ブロック施工と同時に施工してください。
- オプションの棚をご使用いただく際は、「12.棚の取付け」の項をあわせてご参照のうえ、ブロックの施工を行ってください。
- ブロック施工については、「Tーブロック　ラテル＆ウォルズ取付説明書（取説コードB047）」を併用してご参照ください。

4ー3　窓枠の施工

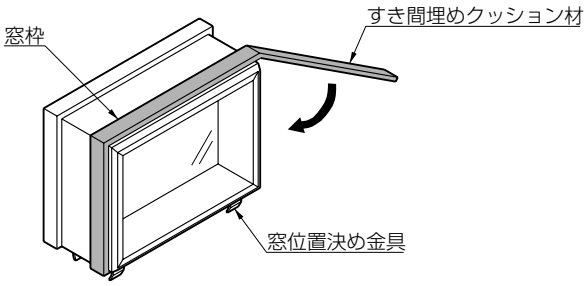
(1)窓位置決め金具の取付け



❶ 左図のように窓枠下部の下孔に、窓位置決め金具をφ4×20トラスタッピング1種ネジで固定してください。（4ケ所）

4ー3　窓枠の施工　つづき

(2)すき間埋めクッションの取付け

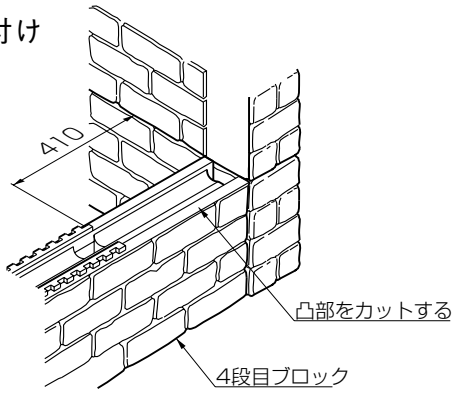


❶ 左図にしたがい、すき間埋めクッション材を貼付けてください。

＜注 意＞

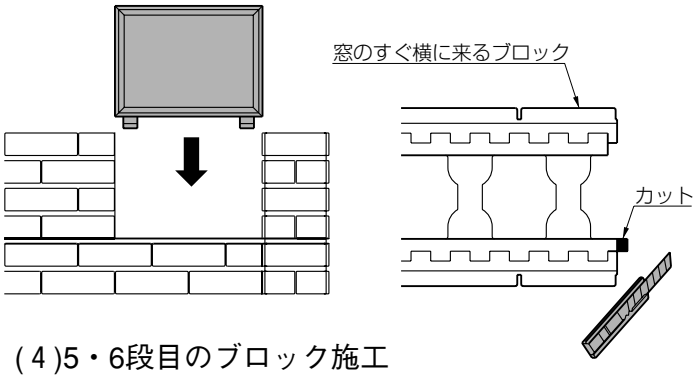
● 窓枠下面(窓位置決め金具取付け側)には、クッション材を貼らないでください。

(3)窓枠の取付け



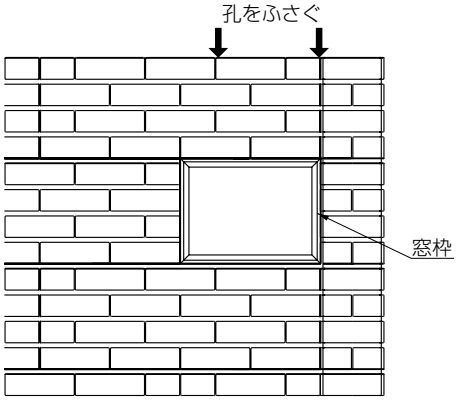
❶ 4段目ブロックのハメ合い用凸部分をカッターナイフ等で切断してください。

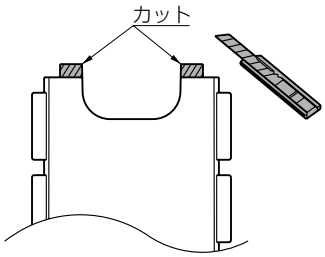
❷ 横にくるブロック側面部のかみ合わせ凸部を、カッターナイフ等で切断してください。



❸ 4段目ブロックの横筋モルタル充填部に、あらかじめ窓枠に取付けておいた窓位置決め固定金具を、埋込むような形で窓枠を施工してください。

(4)5・6段目のブロック施工





❶ 5段目ブロックの施工を、「Tーブロックラテル＆ウォルズ取付説明書（取説コードB047)」にしたがい行なってください。

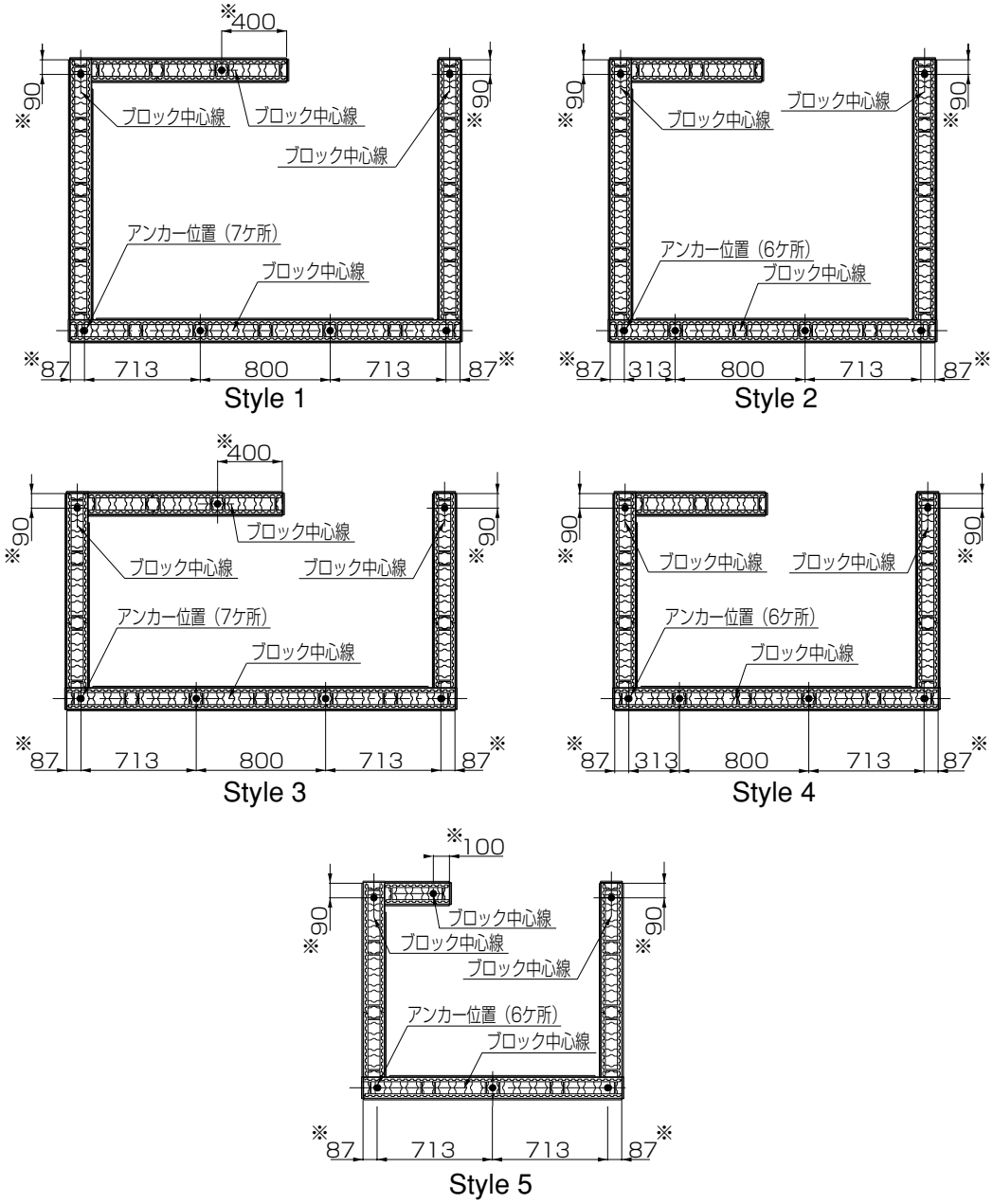
❷ 6段目のブロックで、窓枠のすぐ上に施工するブロックの窓枠にかかる孔を、テープ等でふさいでください。

＜注 意＞

● 窓枠の木材部分にモルタルが接触しますと、モルタルのアルカリ成分により木材を侵してしまうおそれがあります。木材部には硬化前のモルタルが接触しないように注意して施工してください。

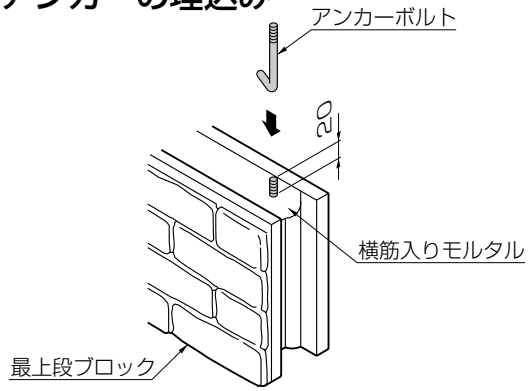
5．アンカーの埋込み

5ー1 アンカー位置図



※印寸法はすべてブロック端部発泡部からの寸法です。

5ー2 アンカーの埋込み



❶「5ー1 アンカー位置図」にしたがって、アンカーボルトを埋込んでください。
このとき、左図のようにアンカーボルトのタップ部分がモルタルの中に入らないように埋込んでください。

＜注 意＞

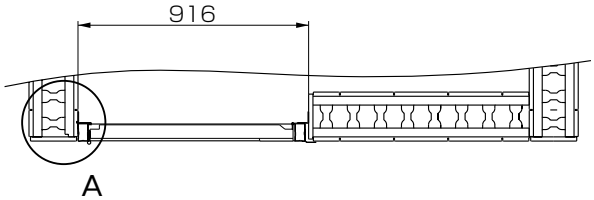
- アンカーボルトが縦筋または横筋と接触する場合は、モルタル硬化前に配筋の位置を調整してください。
- アンカーボルトを埋込んだ後、モルタルが完全に硬化するまでアンカーボルトを動かさないように注意してください。

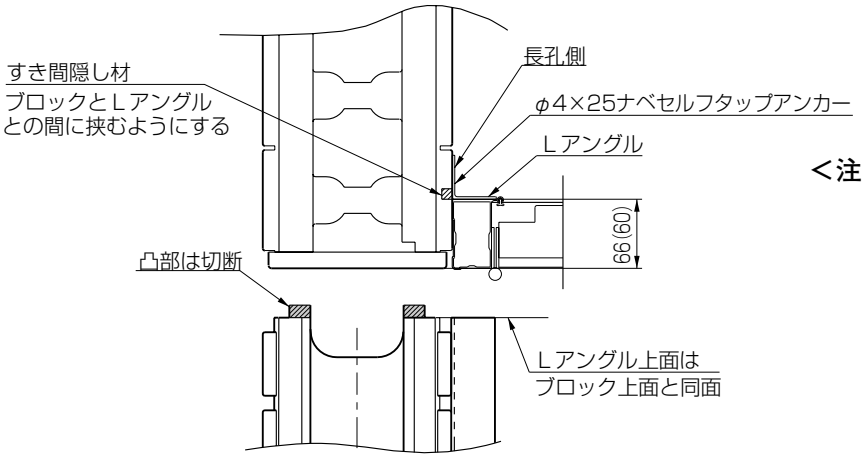
6. ドア枠の取付け

<注 意>

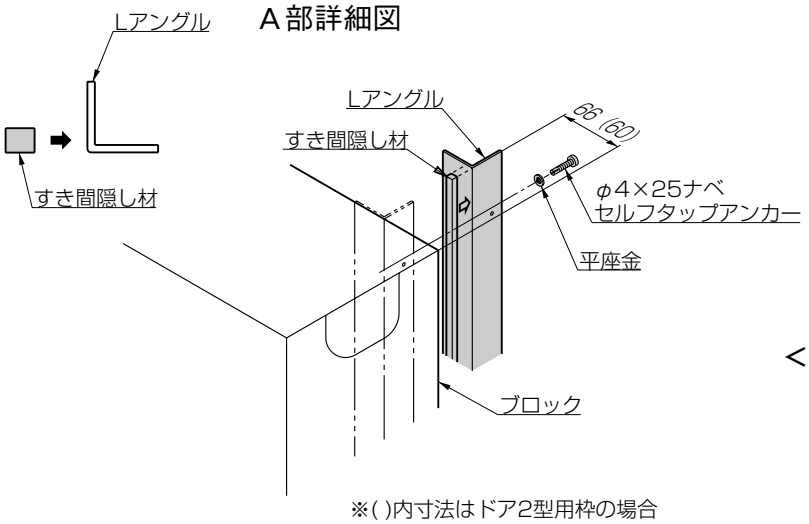
- ここから先の作業は、Tーブロック内部のモルタルが完全に硬化した後に行なってください。

6ー1 ドア枠固定Lアングルの取付け





A部詳細図



※( )内寸法はドア2型用枠の場合

❶ Lアングルにすき間隠し材を貼付けてください。

<注 意>

- すき間隠し材は、Lアングルの2本のうち1本（左図A側）に貼付けてください。
- 貼付け位置は、Lアングルの長孔が10ケ所ある面のコーナー部に沿って貼付けてください。

❷ ドア枠を開口部に仮置きし、ドア枠の前面がブロックのツラ位置にくるようにしてください。

<注 意>

- ドア枠を取付ける際、ドア枠の垂直および水平を十分に確かめた上でLアングルの固定をしてください。

❸ 仮置きした枠にLアングルを密着させた位置でLアングルを固定してください。Lアングルの長孔側をブロックに当て、長孔の孔位置に印を付け一度ドア枠およびLアングルを取りはずした後、印の位置にコンクリート用ドリルでφ3.2の下孔をあけてください。

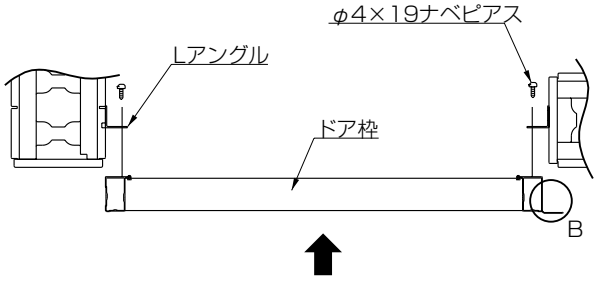
❹ 先にあけた下孔に、φ4×25ナベセルフタップアンカーでLアングルを固定してください。

❺ 対面も同様にLアングルを取付けてください。

<注 意>

- すき間隠し材は、ドア枠のフィンが取付かない側（B部の反対側）のLアングルのみに取付けてください。

6ー2 ドアの取付け



❶ ドア枠を前方からセットし、ドア枠の垂直・水平および枠のゆがみ等に注意しながら内側からLアングルにφ4×19ナベピアスネジで固定してください。

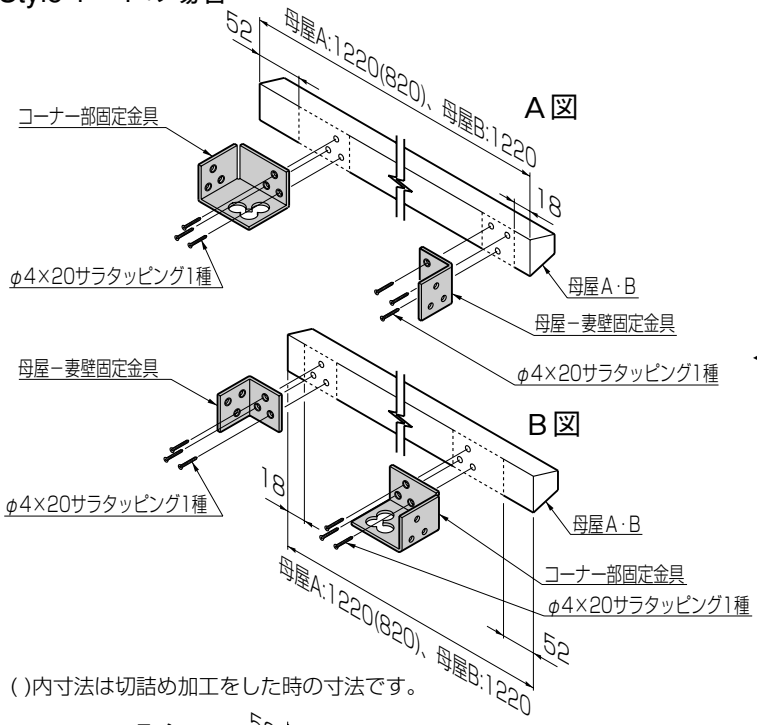
<注 意>

- ドア枠には左右があります。B部のようにフィンがある側がヌック前面の壁側になります。反対側は、壁と連続で施工する際にじゃまになるため、フィンが付いていません。

7．屋根の施工

7ー1　母屋への金具の取付け

(１)Style 1～4 の場合



( )内寸法は切詰め加工をした時の寸法です。

＜注 意＞

- 母屋には母屋Ａ・母屋Ｂの２種類があります。左図を参考に、間違えて施工しないように十分注意してください。

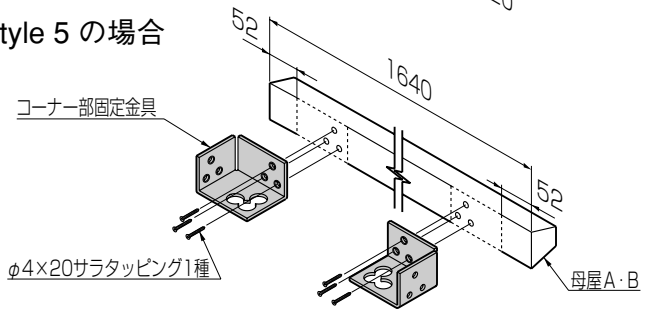
❶ 母屋Ａにコーナー部固定金具と母屋ー妻壁固定金具を取付けます。左図にしたがって、各金具をφ４×20サラタッピング１種ネジで固定してください。

❷ 同様に母屋Ｂにも、コーナー部固定金具と母屋ー妻壁固定金具を、φ４×20サラタッピング１種ネジで固定してください。

＜注 意＞

- 組付ネジは全てφ４×20サラタッピング１種ネジを使用してください。
（母屋A・母屋B共通）
- 金具の取付は、A図、B図それぞれの作業を母屋Ａおよび母屋Bの各1本ずつにおこなってください。
（母屋Aおよび母屋Bは2本ずつ梱包されています。）

(２)Style 5 の場合

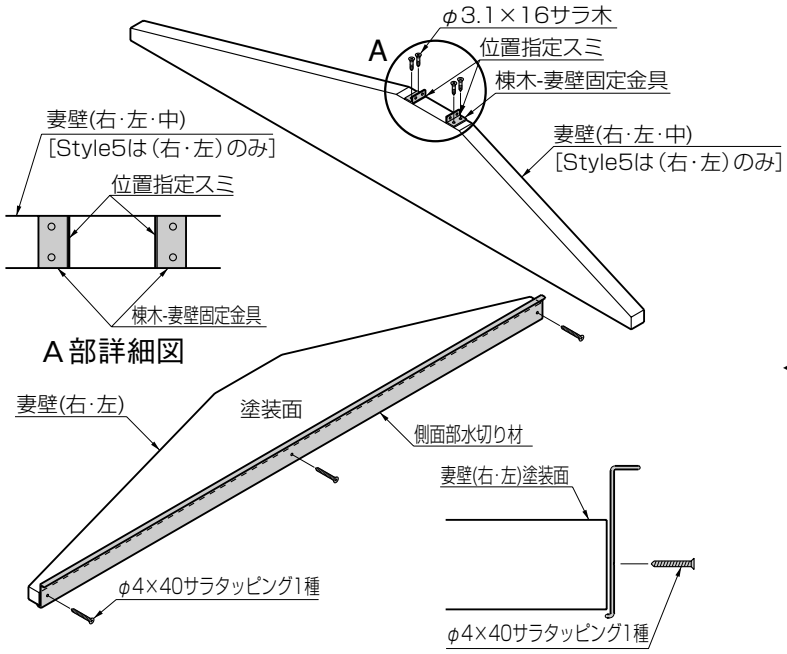


＜注 意＞

- 母屋には､Style1～4同様､母屋A、母屋Bの2種類があります。

❶ 母屋 Aおよび母屋Bにコーナー部固定金具をφ4×20サラタッピング１種ネジで固定してください。

7ー2　妻壁への金具の取付け



❶ 妻壁（右・左・中）［Style5は（右・左）のみ］それぞれに棟木ー妻壁固定金具を取付けます。妻壁（右・左・中）［Style5は（右・左）のみ］それぞれの上部にあらかじめ入れてある位置指定スミに合わせ、棟木ー妻壁固定金具をφ3.1×16サラ木ネジで固定してください。

❷ 妻壁（右）および妻壁（左）に側面部水切り材を、φ４×40サラタッピング１種ネジで固定してください。

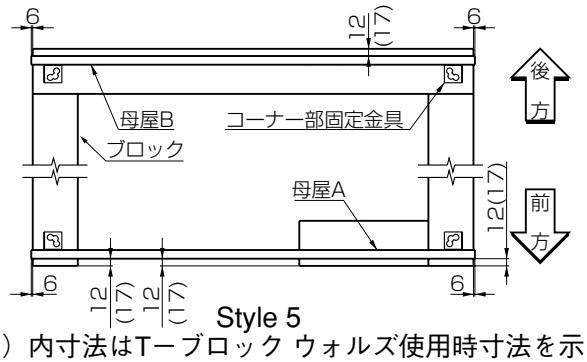
＜注 意＞

- 妻壁（右）および妻壁（左）は、片面にだけ塗装が施されています。塗装面が施工後外側になるように、向きに気を付けて側面部水切り材を取付けてください。

7ー3 母屋の取付け

Style 1 および Style 2

Style 3 および Style 4



Style 5

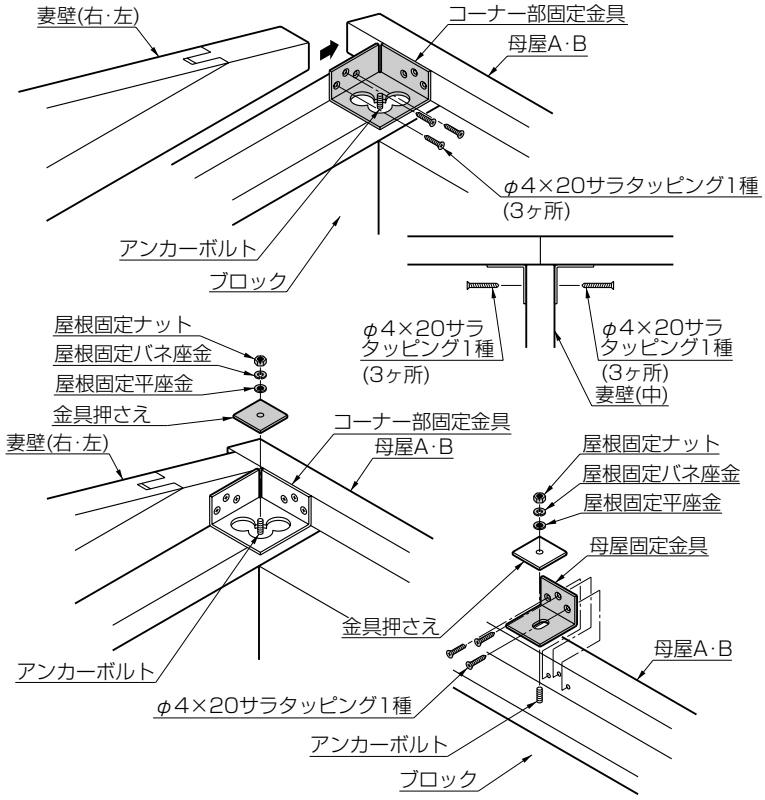
※（　）内寸法はTーブロック ウォルズ使用時寸法を示す。

❶ あらかじめ金具を取付けておいた母屋を取付けます。ブロックに埋めておいたアンカーボルトをコーナー部固定金具の丸孔に通し、左図の位置になる場所に母屋A・Bを配置してください。

❷ 次に妻壁をセットします。両サイドに妻壁(右)および妻壁(左)を、中心に妻壁(中)(Style5にはありません。)をそれぞれ配置してください。

<注 意>

- 妻壁(右)および妻壁(左)には、片面にのみ塗装がされています。組付ける際は必ず、塗装面が外側になるように方向に注意してください。



❸ 妻壁(右)および妻壁(左)を、母屋 A・Bに固定してあるコーナー部固定金具にφ4×20サラタッピング1種ネジで固定してください。

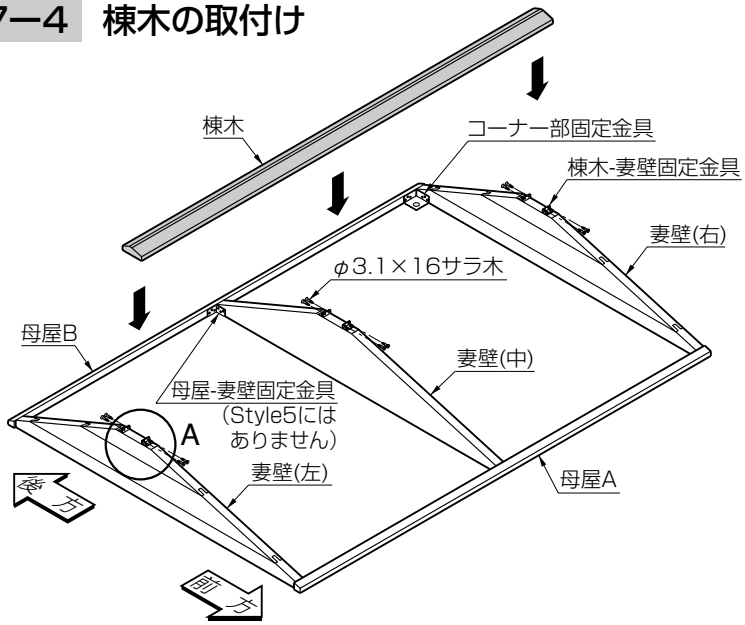
❹ 同様に妻壁(中)を母屋 A・Bに固定してある母屋ー妻壁固定金具にφ4×20サラタッピング1種ネジで固定してください。(Style5にはありません。)

❺ 母屋と妻壁が金具によって一体化されましたら、コーナー部のアンカーボルトに金具押さえを通し、屋根固定ナット・平座金・バネ座金で母屋を固定してください。

❻ 残ったアンカーボルトを母屋固定金具の長孔部に通し、母屋固定金具にφ4×20サラタッピング1種ネジを用いて固定した後、アンカーボルトに金具押さえを通しコーナー部と同様に固定してください。

7．屋根の施工　つづき

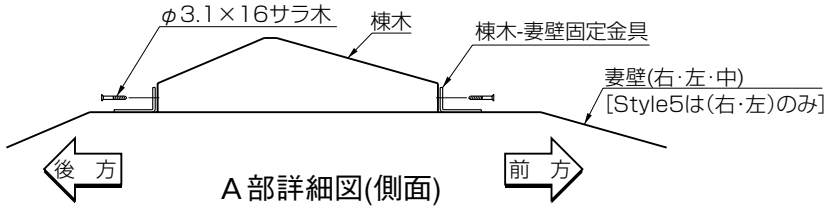
7ー4　棟木の取付け



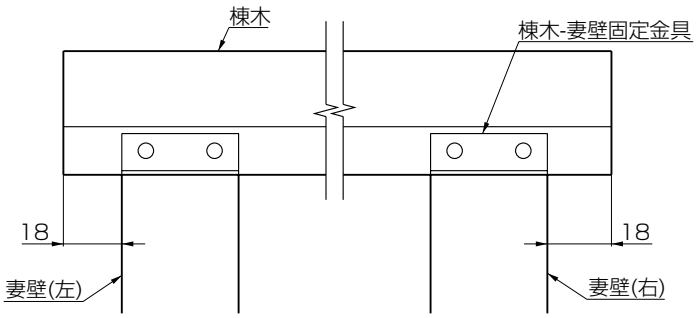
<注 意>

● 棟木には母屋同様向きがあります。左図にしたがって、向きを間違えないようにしてください。

❶ 棟木ー妻壁固定金具を取付けておいた妻壁に、金具と金具の間に納まるように棟木を乗せてください。このとき、左右サイドの妻壁から棟木が、左図（A部詳細図（正面））の位置にくるように置いてください。



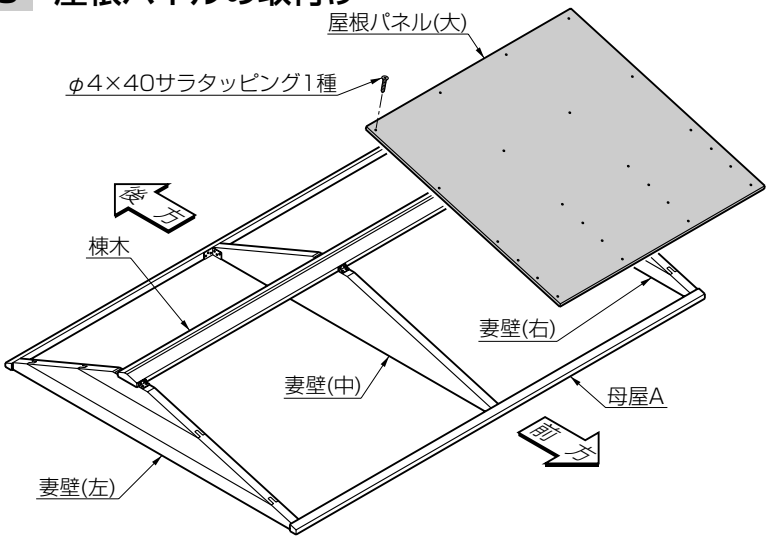
A部詳細図(側面)



A部詳細図(正面)

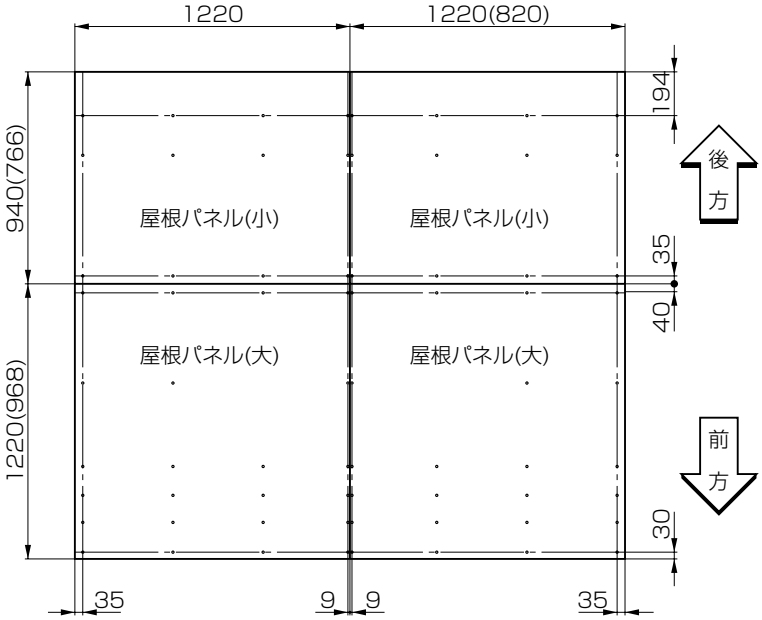
❷ 棟木を、φ3.1×16サラ木ネジを利用して固定してください。

7ー5　屋根パネルの取付け



❶ 屋根パネル(大)を取付けます。次ページ（屋根配置図）の位置にくるようにパネルを乗せ、φ4×40サラタッピング1種ネジで固定してください。

(1)屋根配置図（Style1～4の場合）



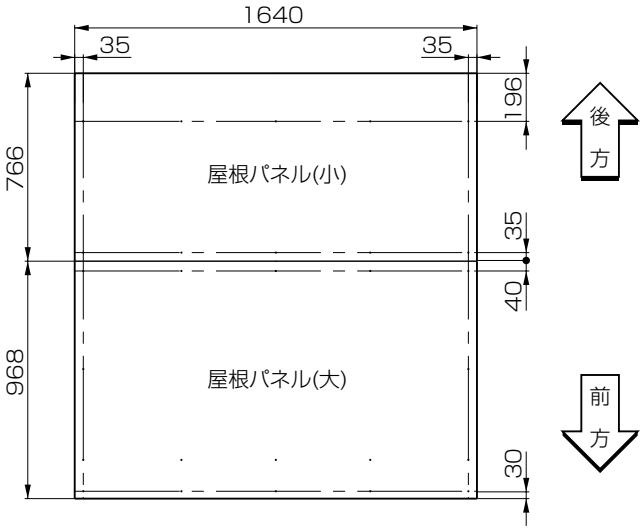
※(　)内寸法は、切詰め時の寸法です。

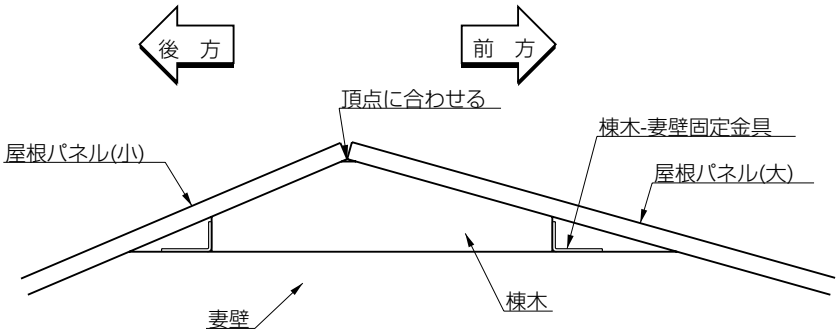
<注 意>

● 屋根パネル(大)および屋根パネル(小)には方向性があります。左図を参考に、注意して取付けてください。

❷ 同様に屋根パネル(小)を左図の位置にくるように置き、φ4×40サラタッピング1種ネジで固定してください。

(2)屋根配置図（Style5の場合）



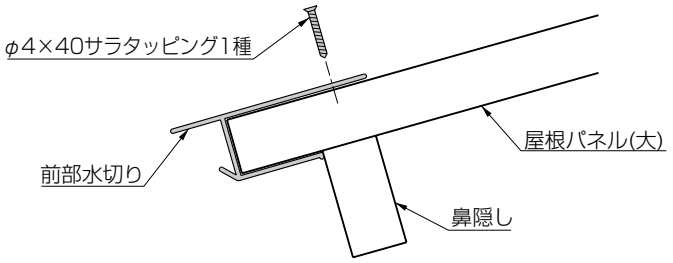


屋根納まり図

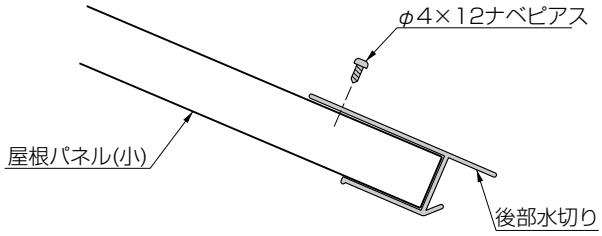
7．屋根の施工　つづき

7ー6　前後部水切り材の取付け

(1)前部水切りの取付け



(2)後部水切りの取付け



❶ 左図のように、前後部水切り材を屋根パネルの前方側にはめ込んでください。
このとき、屋根パネルの下孔と前部水切りの孔が合うようにしてください。

❷ 鼻隠しを屋根パネルの下側に、前後部水切り材をガイドするようにして当て、屋根パネルの上面からφ4×40サラタッピング1種ネジで、左図のように固定してください。

❶ 前部水切りと同様に、屋根パネルの後方側に前後部水切り材をはめ込んでください。

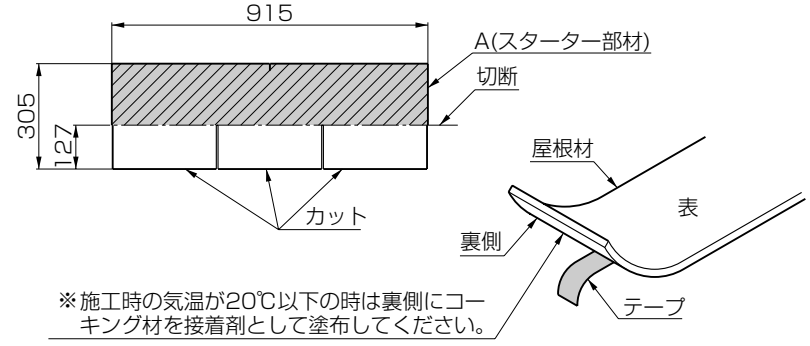
❷ 屋根パネルの上側から、φ4×12ナベピアスネジで水切り材を固定してください。

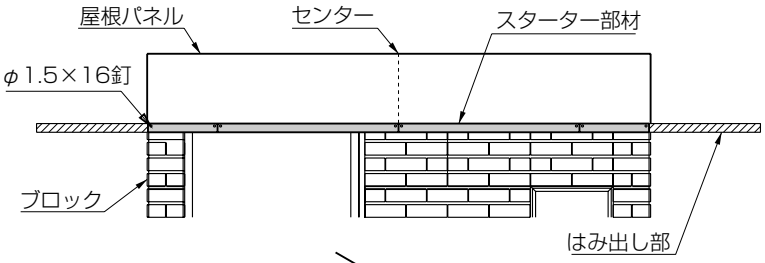
＜注 意＞

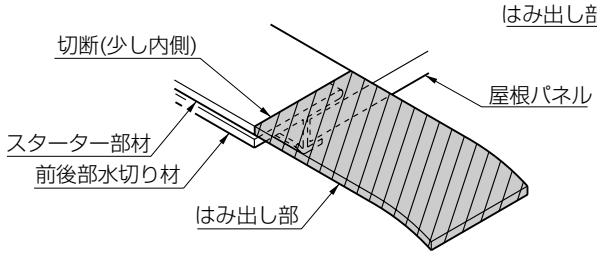
- 後部水切りを取付ける際、屋根パネルには下孔があいておりません。ピアスネジにて縫い込むように固定してください。

7ー7　屋根材の施工

(1)スターターの施工







❶ スターターとして左図Aの部材を作ります。屋根材は裏側からカッターナイフで簡単に切断することができますので、指示した部分でカットしてください。

❷ 屋根材の裏に貼ってあるテープをはがしてください。

❸ 屋根材を屋根のセンターから順番に、左図のように貼付けてください。

＜注 意＞

- スターターは屋根の前方の端部と後方の端部、合計2ケ所に施工します。後方端部も同じように施工してください。

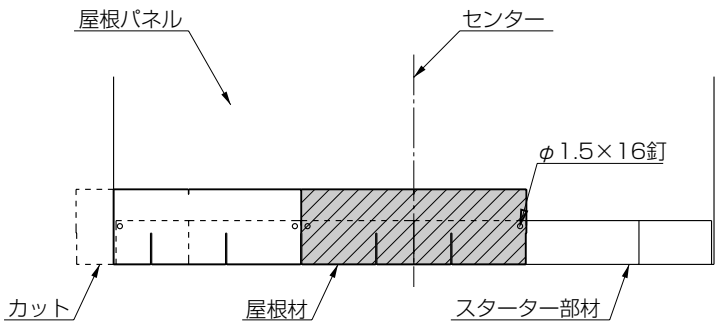
❹ 左図の位置に、φ1.5×16釘で2ケ所ずつ固定してください。

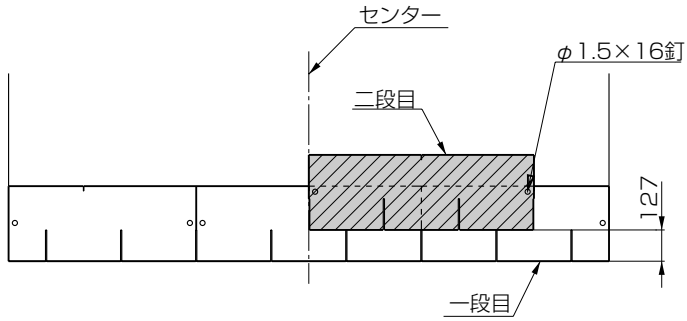
❺ 屋根部からはみ出した部分を切り取ってください。また、切り取った残りの屋根材も使用できますので、なるべく有効に施工するようにしてください。

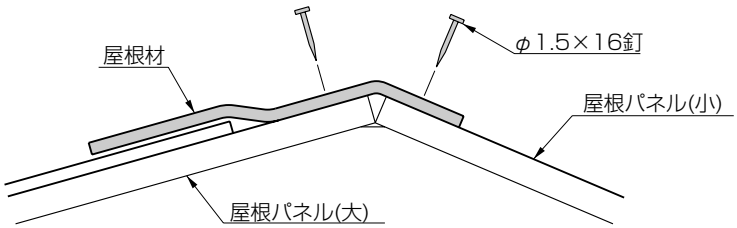
＜注 意＞

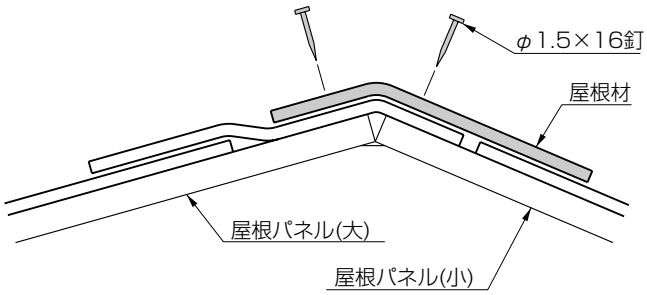
- 屋根部からはみ出した屋根材は、少し長めに切断してください。

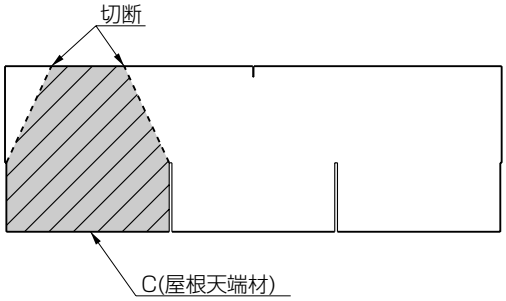
(2)屋根材基本部の施工











❶ スターター施工をした上から、基本となる屋根材を施工していきます。屋根のセンターから屋根の前方端部へ順番に施工してください。

<注 意>

- このとき、屋根材の裏面にあるテープは必ずはがしながら施工してください。太陽光によりテープが貼られていた部分の接着成分が溶け出し、より高い止水効果をもたらすようになります。
- 冬期等１日の最高気温が20℃以下の時、屋根材の施工をされる場合、屋根材の接着成分の溶け出しに時間がかかる場合があります。施工時の気温が低い場合には、同梱されているコーキング材や、市販の変成シリコン系のコーキング材等を屋根材裏側に接着剤として塗布しながら施工してください。

❷ スターターのときと同じように、φ1.5×16釘で屋根材を固定してください。

❸ 屋根部からはみ出した部分をカットしてください。

❹ １段目の施工が終わりましたら、２段目の屋根材を施工します。左図のように１段目とピッチをずらし、同じ要領で施工してください。

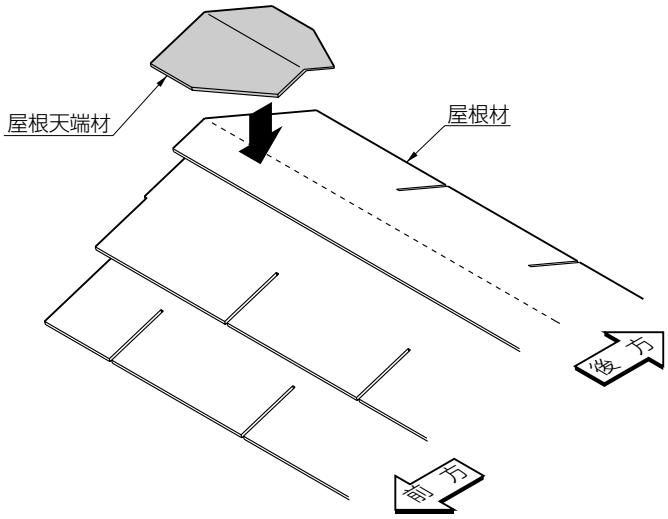
❺ ３段目からも同じ要領で施工し、屋根材の納まりが左図の状態になるまで、上記の作業を繰り返してください。

❻ 左図のようになりましたら、屋根後方端部から同じように屋根材を施工してください。

❼ 屋根材の納まりが左図のような状態になるまで施工が終わりましたら、最後に天端部の処理をしてください。

❽ 屋根材を左図Cの形状にカットしてください。

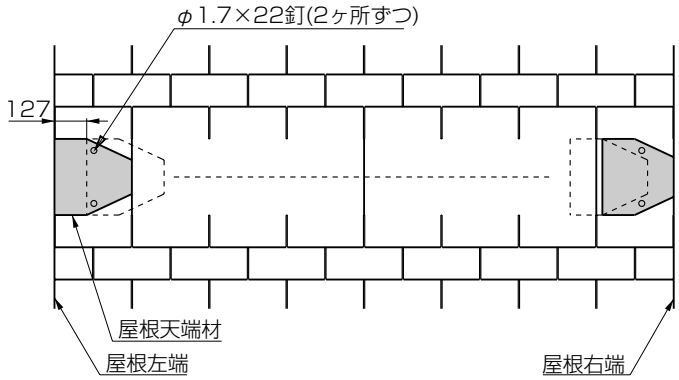
7. 屋根の施工　つづき



❾ 屋根正面左側の天端から施工します。あらかじめ加工しておいた屋根材を、φ1.7×22釘で固定してください。

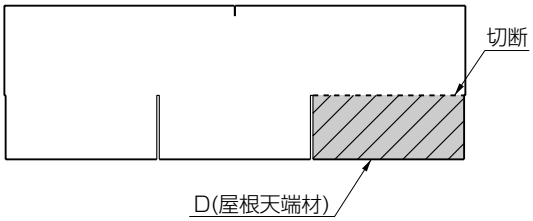
<注 意>

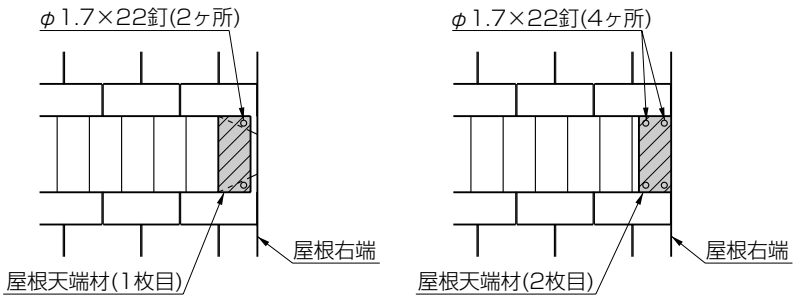
● このとき、屋根材裏側のテープをはがした後に屋根材を固定するようにしてください。



❿ 左図のように同じ形状にカットした屋根材を、重ねて施工してください。

⓫ 同じ要領の作業をくり返し、左図のように屋根材右側天端まで屋根材を施工しましたら、左図Dの形状に屋根材をカットしてください。

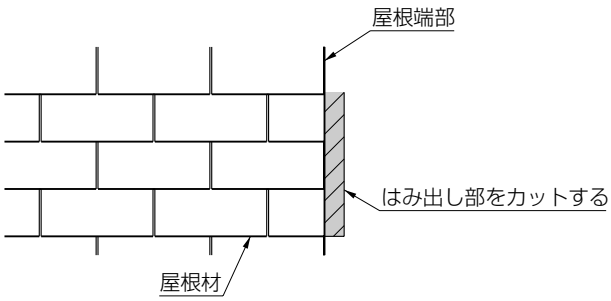




⓬ 左図Dの屋根材を、φ1.7×22釘で固定してください。（2枚）

7ー8 屋根化粧材の取付け

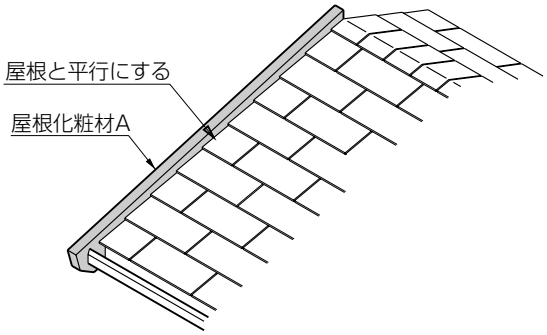
(1)屋根化粧材Aの取付け



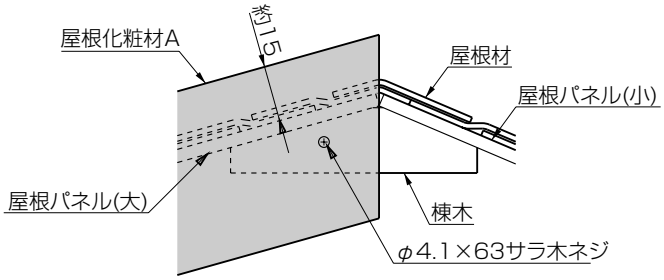
❶ 屋根化粧材を取付ける前に、屋根の左右端部からはみ出している屋根材がないか確認してください。

＜注 意＞

- 屋根材は屋根端部の内側に納まっている状態で、屋根化粧材を取付けてください。
- 屋根の左右端部から屋根材がはみだした状態のまま屋根化粧材を取付けますと、屋根化粧材と屋根との間にすき間が発生し、仕上がりが悪く見えることに加え、十分な止水効果が得られなくなってしまいます。

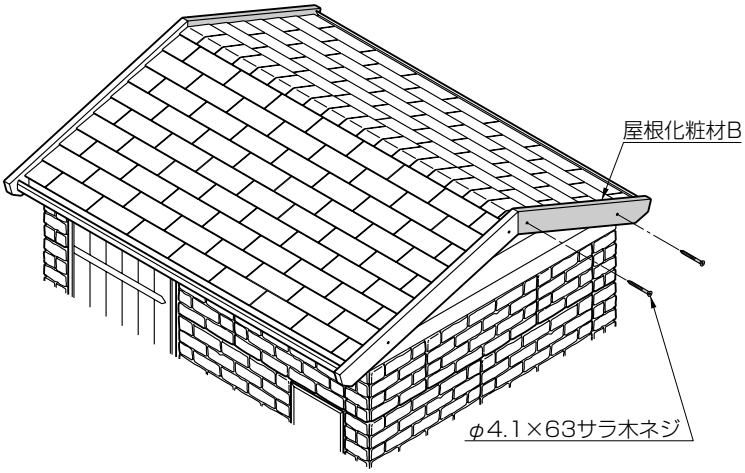


❷ 屋根化粧材Aと屋根の仕上がり面が平行、かつ左図のような納まりになる位置にφ4.1×63サラ木ネジで、屋根化粧材Aを固定してください。



❸ 同様に、屋根の反対側の端部にも屋根化粧材Aを取付けてください。

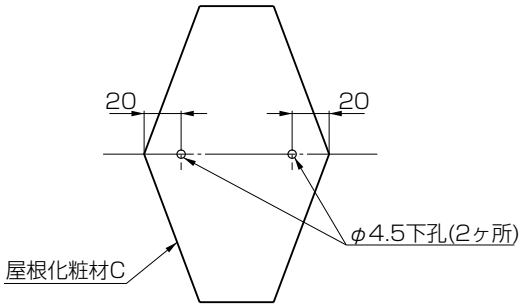
(2)屋根化粧材Bの取付け



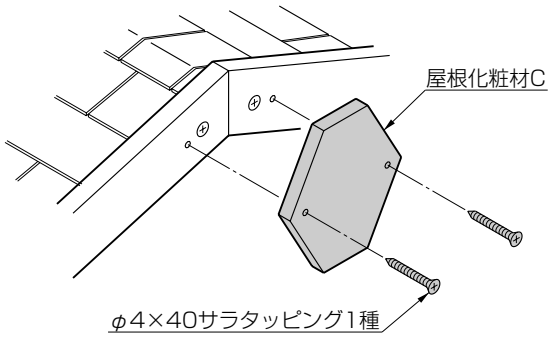
❶ 屋根化粧材Aと同様に、φ4.1×63サラ木ネジで屋根化粧材Bを固定してください。

7．屋根の施工　つづき

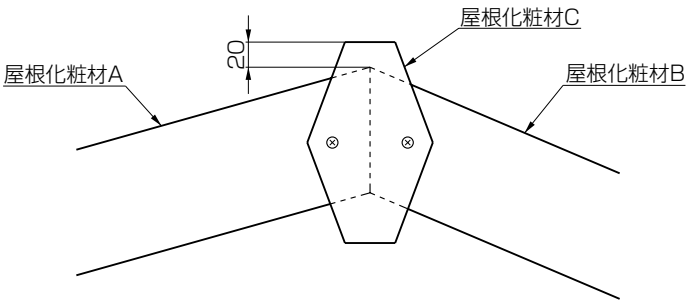
(3)屋根化粧材Cの取付け



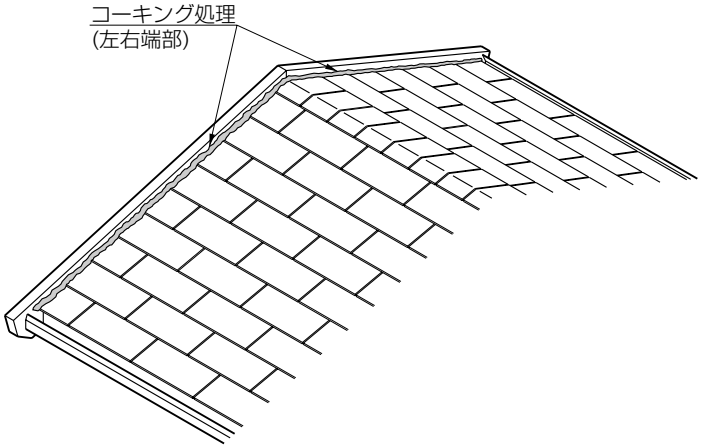
❶ 屋根化粧材Cに、左図のようにφ4.5の下孔をあけてください。



❷ 左図のように、屋根化粧材Cをφ4×40サラタッピング1種ネジで固定してください。



7ー9　屋根部のコーキング処理



❶ 屋根上部(左図の位置)にコーキング処理を行なってください。

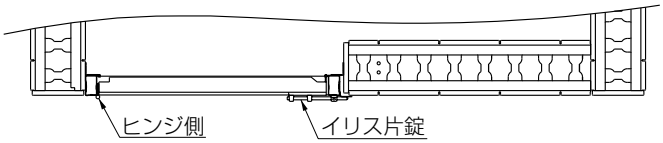
<注 意>

- 屋根材と屋根化粧材の間を、すき間があかないようにコーキング処理を行なってください。すき間があいた状態ですと、十分な止水効果が得られなくなってしまいます。

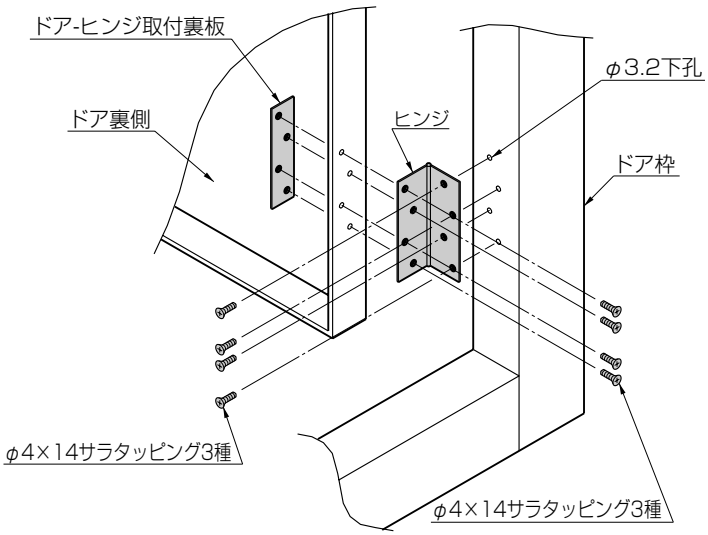
8. ドアの取付け

8ー1 ドア1型の取付け

(1)ドアの取付け



❶ ドアの吊元側を確認のうえ、φ4×14サラタッピング3種ネジでドアを取付けてください。

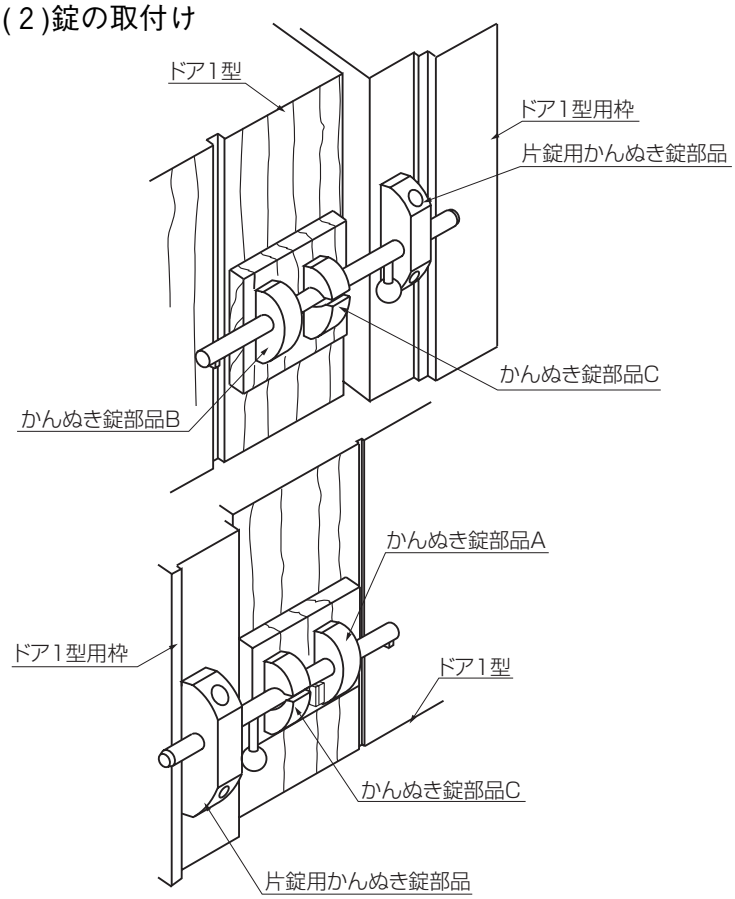


<注 意>

- ドアの吊元は左右どちらでも取付けることが可能です。(ドアには天地がありません。)現場により左右勝手をご自由にお選びください。

❷ ドア枠にヒンジを組付け後(上下2ケ所)、裏板でドアの側面枠を挟む形でφ4×14サラタッピング3種ネジを用い、ドアを吊込んでください。

(2)錠の取付け



<注 意>

- 錠はイリス門扉片錠をご使用ください。
- 錠の詳細は、「イリス門扉片錠梱包内の取付説明書(取説コードA148)」をご参照ください。

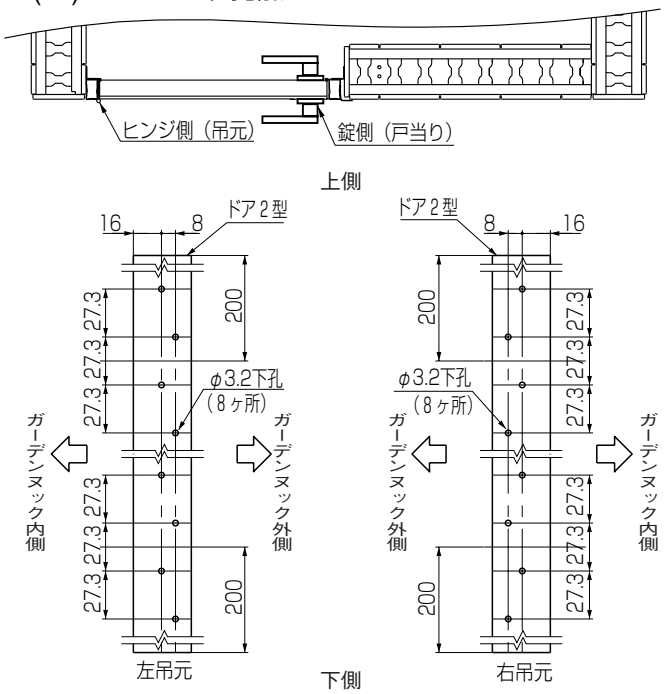
❶ かんぬき錠部品を、M4×15サラ小ネジでドアを鋏み込む形で固定してください。

❷ 片錠用かんぬき部品は、錠の開閉がスムーズな高さにφ3.2の下孔をあけた後、φ4×25サラタッピング1種ネジで固定してください。

8. ドアの取付け　つづき

8ー2　ドア2型の取付け

(1)ドアへの下孔加工

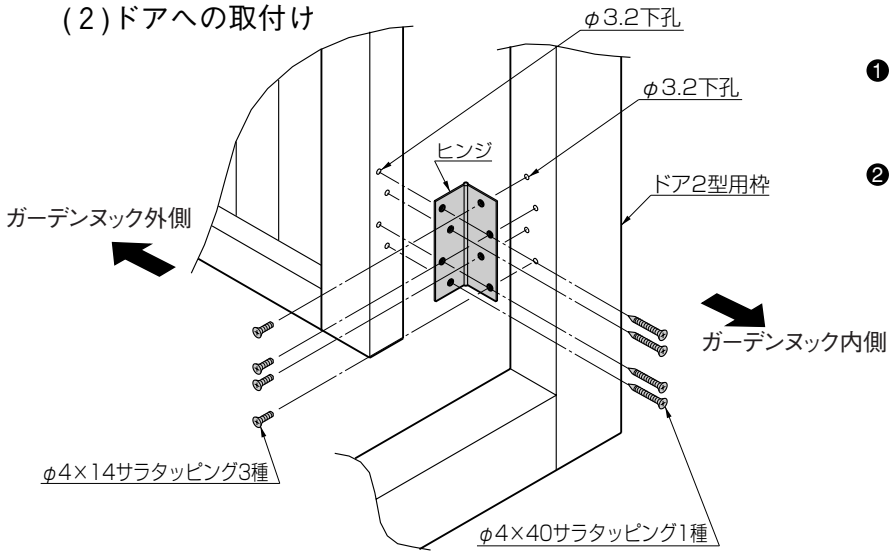


<注 意>

- ドア２型には表裏がありませんが取付けに際しては左右の勝手にあわせてドア２型本体の吊元側、側面部にヒンジ取付用の下孔をあける必要があります。

❶ 左図寸法図にしたがってドア吊元側、側面部に下孔をあけてください。
このときヒンジをあてながら下孔位置を確認した後、孔加工をして頂くと、簡単に正確な孔位置を出すことが出来ます。

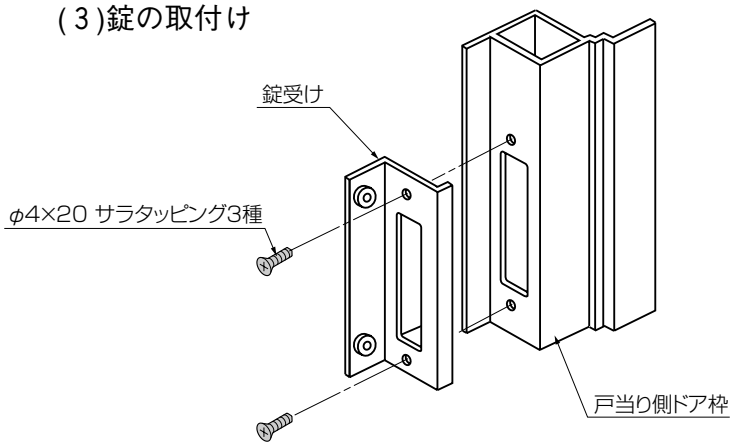
(2)ドアへの取付け



❶ ドアの吊元側を確認のうえ、φ4×14サラタッピング３種ネジを用いてドア枠にヒンジを取付けてください。

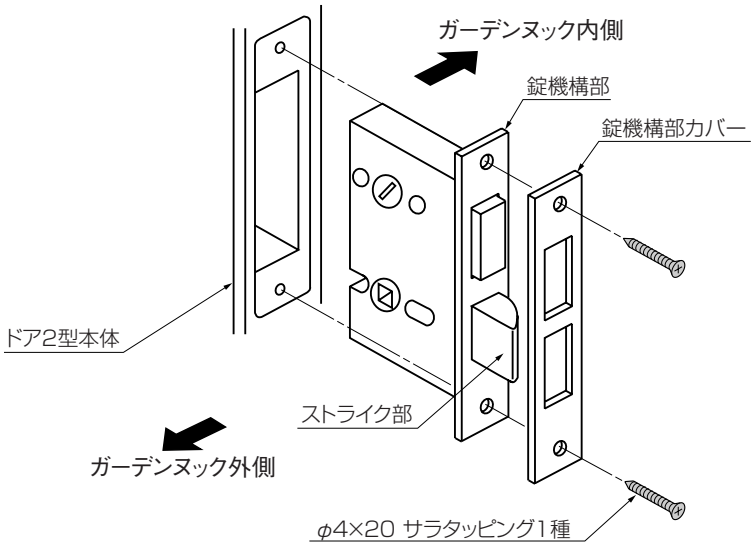
❷ ドア２型をヒンジに固定します。あらかじめあけておいた下孔を使用し、φ４×40サラタッピング１種ネジでドアを吊込んでください。

(3)錠の取付け



❶ ドア枠（戸当り側の加工部分）にφ４×14サラタッピング３種ネジを用い、錠受けを取付けてください。

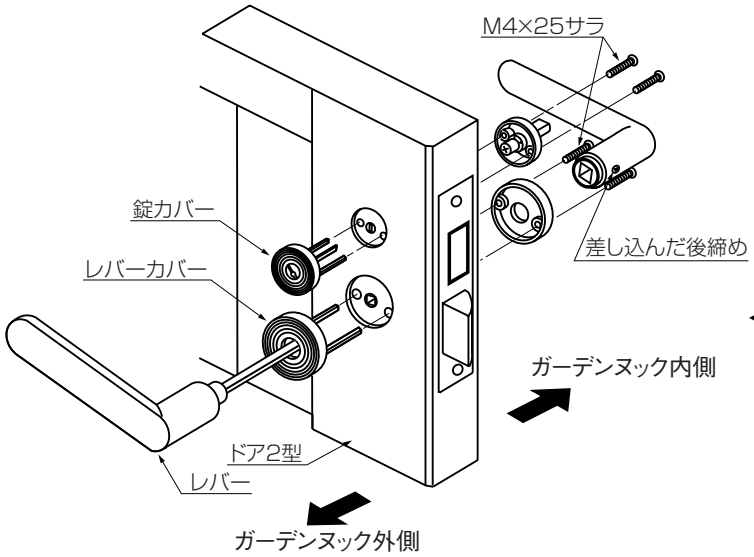
❷ 吊元側のドア枠には使用しない加工穴に錠受け穴隠しシールを貼付けてください。



❸ ドア2型本体に錠機構部をφ4×20サラタッピング1種ネジを用い、図のように固定してください。

<注 意>

- 錠機構部カバーにあらかじめ貼付けられている保護ビニールシートをはがしてから固定してください。
- 吊元を左右変更する場合φ4×20サラタッピングネジをはずし、錠機構部カバーのみを取りはずした後、錠機構部のストライク部を180°回転させてから、再度錠機構部カバーを固定してください。

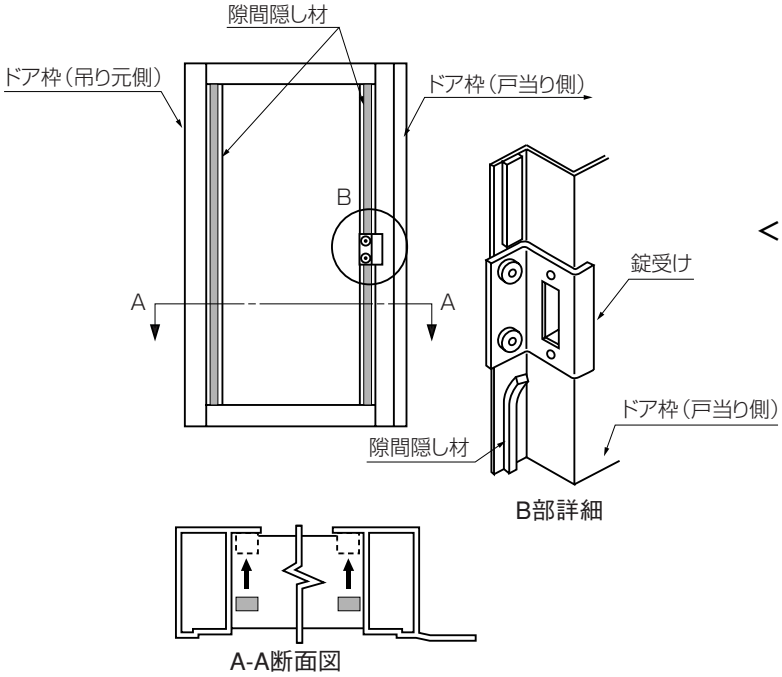


❹ レバーおよび錠カバーをφ4×25サラネジを用い、それぞれ固定してください。

<注 意>

- 固定ネジは防犯上必ずガーデンヌック内側になる面からとめるようにしてください。

(4)隙間隠し材の貼付け



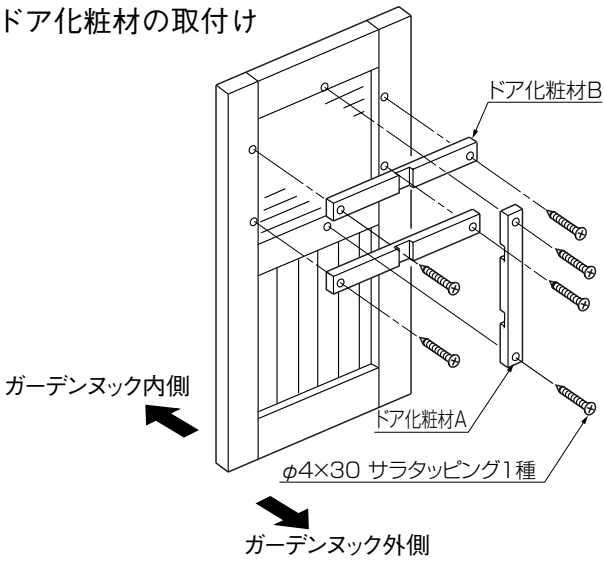
❶ ドア枠形材のフィンの部分(図参照)に隙間隠し材を貼付けてください。

<注 意>

- 戸当り側の錠受け部には、隙間隠し材を貼らないようにしてください。

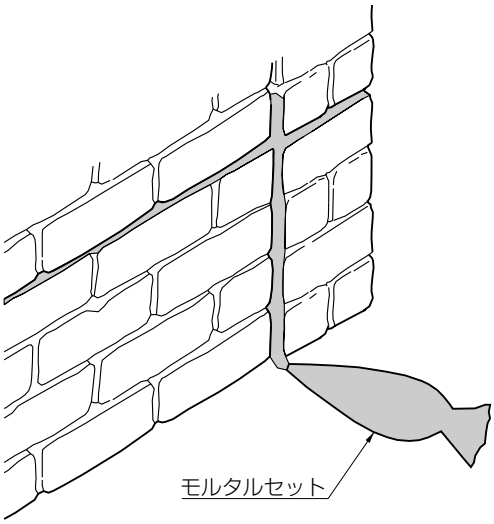
8. ドアの取付け　つづき

(5)ドア化粧材の取付け



❶ ドアの外側にドア化粧材を取付けます。図の位置にドア化粧材Bとドア化粧材Aを図のように組み合わせ、φ4×30サラタッピング1種ネジを用いて取付けてください。

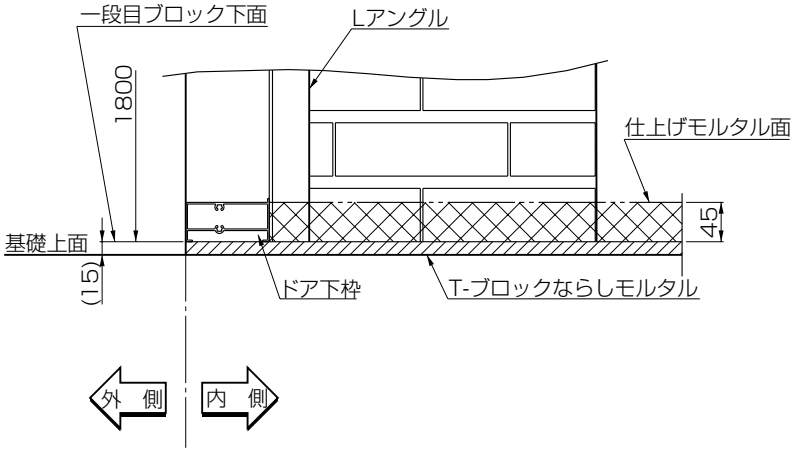
9. ブロック目地の処理



<注 意>

- ブロックの突き当て部等に生じた目地のすき間は、モルタルセットで処理してください。
- ブロックとドア枠とのすき間が開いている場合も、同じようにモルタルセットで処理してください。

10. 内部の土間仕上げ



❶ ガーデンヌック内部に左図にしたがって、土間コンクリートを打ち込んでください。

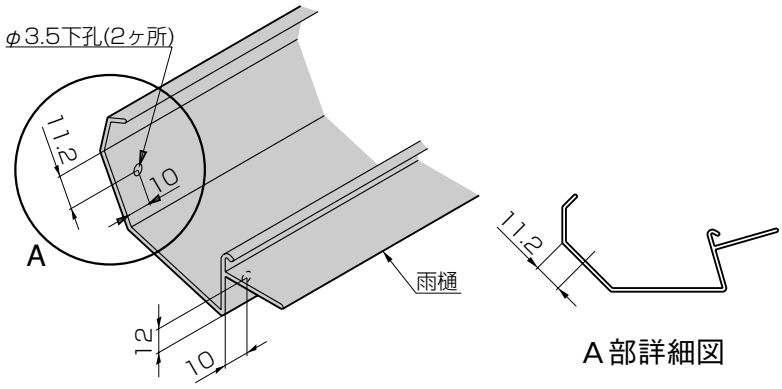
<注 意>

- 雨水処理のため、ドア下枠側に向かって若干の勾配を取ってください。

11．雨樋の取付け

<注 意>

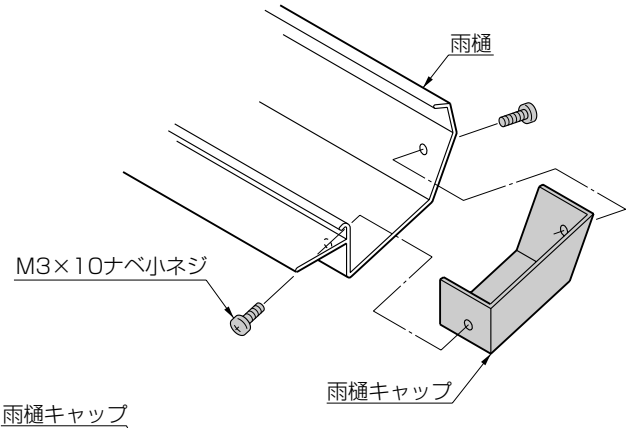
● 雨樋セットはオプション設定です。雨樋を取付けられる場合は、この項をご参照ください。



❶ ガーデンヌックの間口切詰めを行なった場合には、同じように雨樋も400mm切詰めを行なってください。また、左図の位置にφ3.5の孔を2ケ所あけてください。

❷ 雨樋の端部に､M3×10ナベ小ネジで雨樋キャップを取付けてください。

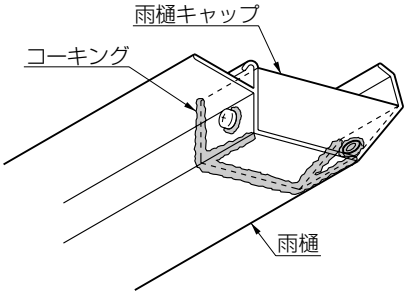
❸ 左図のように取付けた雨樋キャップを中心に、コーキング処理を行なってください。



❹ 雨水処理用のチェーンは、雨樋の任意の場所に取付けが可能です。雨樋下面の任意の場所にホルソーなどでφ28の孔をあけ、左図のようにチェーンを固定してください。

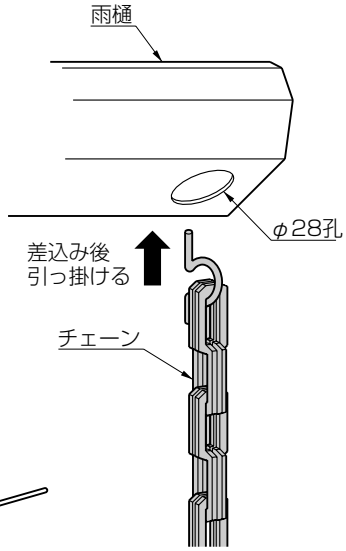
❺ 屋根の前部または、後部水切り材に左図のように雨樋を引っ掛け、φ4×12ナベピアスネジで固定してください。

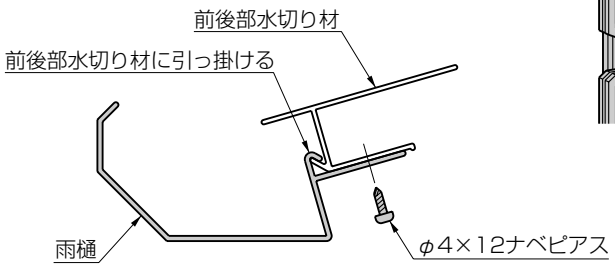
❻ 屋根化粧材と雨樋の間のすき間に、コーキング処理を行なってください。



<注 意>

● 雨樋キャップと雨樋との間のすき間を、コーキング剤で完全にシーリングしてください。特に、ネジ孔部分には十分コーキング剤を塗布し、水が漏れないようにしてください。



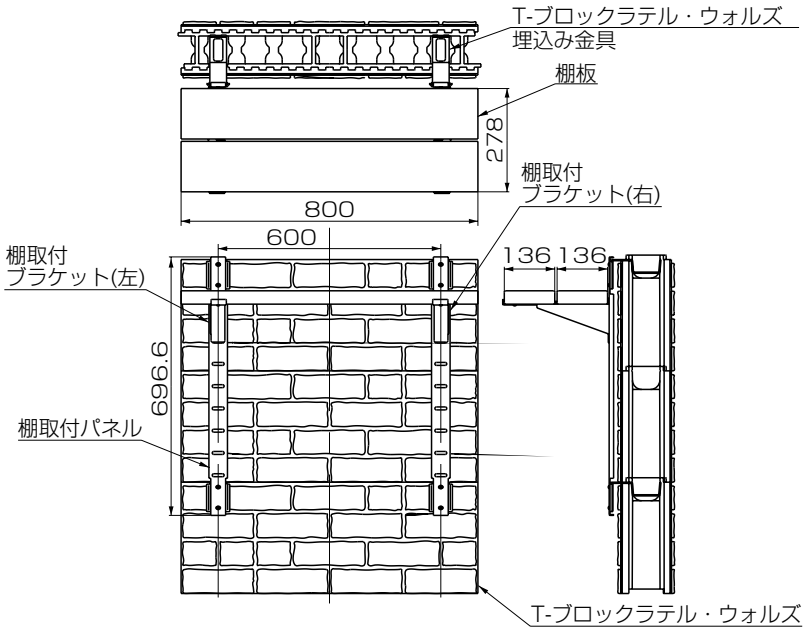


12. 棚の取付け

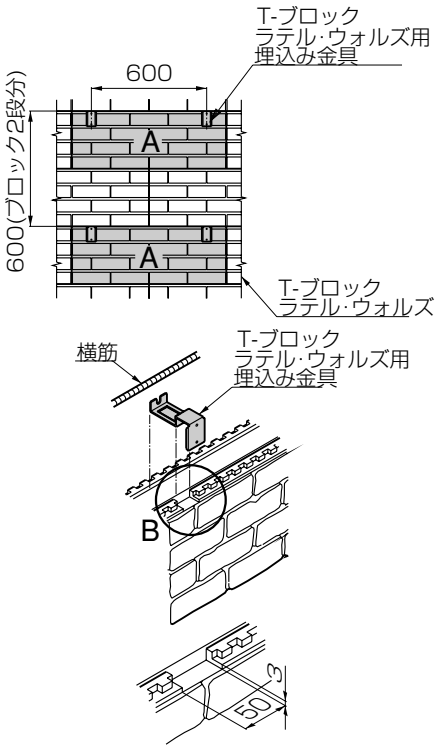
<注 意>

- ガーデンヌック・棚セットは、Tーブロック ラテル・ウォルズの基本ブロック取付け専用です。
- ガーデンヌック・棚セットは、Tーブロック施工後の取付けはできません。
- 棚部分の最大積載荷重は50kgまで、また棚板は2段まで施工可能です。
- 棚部分には乗ったり、ぶら下がったりしないでください。

12ー1 各部名称および納まり寸法図



12ー2 金具の埋込み

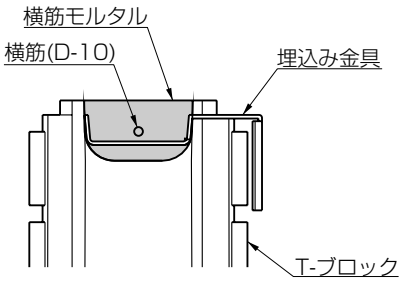


B部詳細図

<注 意>

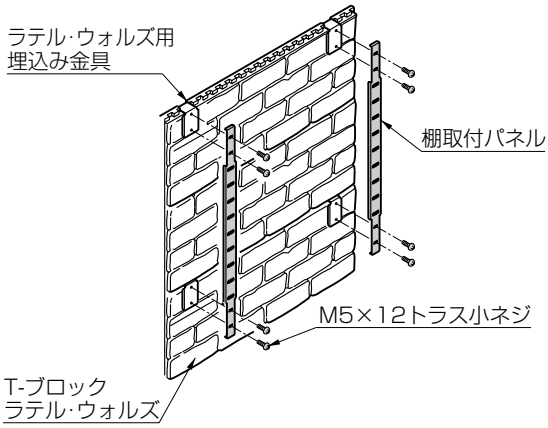
- モルタルを充填する本施工の前に、棚の位置がどこにくるかを確認してください。
- 埋込み金具は、必ず横筋および横筋モルタルが入るブロックに施工してください。(通常2段目・4段目・6段目)
  その他の段に施工する場合は、Tーブロックを施工する際に埋込み金具が取付く段に、横筋および横筋モルタルをずらして施工してください。

❶ 棚取付け部のブロック(左上図Aのブロック)はあらかじめB部のように、ハンドグラインダー等で加工してから積み上げてください。



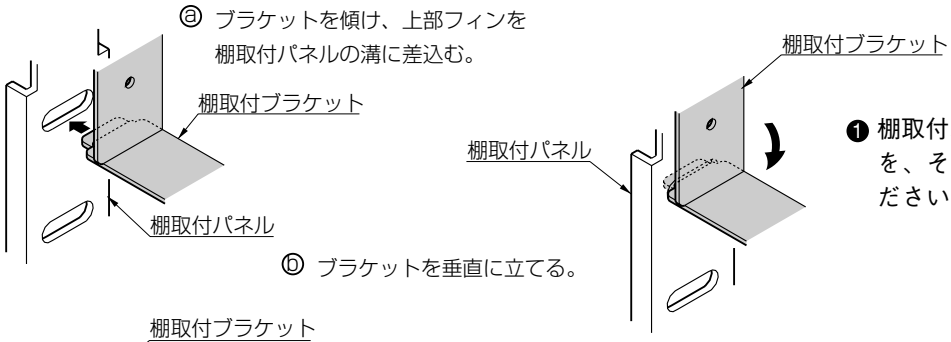
❷ 埋込み金具施工後は、左図のように必ず横筋と横筋モルタルを十分に施工してください。

12−3 棚取付パネルの取付け

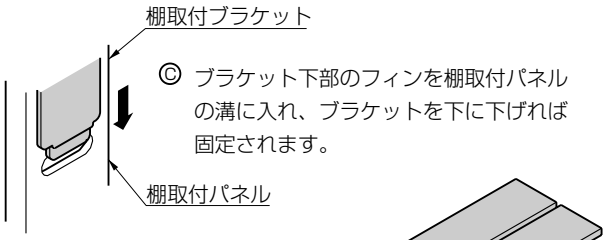


❶ T−ブロックに埋込んでおいた埋込み金具に、左図のように棚取付パネルを M5×12トラス小ネジで固定してください。

12−4 棚板の取付け

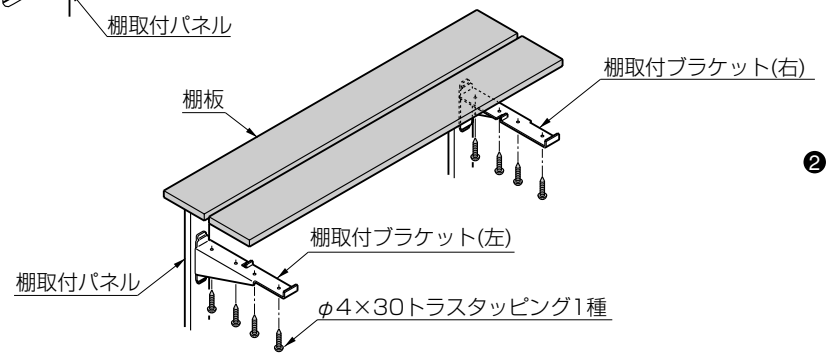


❶ 棚取付パネルに棚取付ブラケット(右･左)を、それぞれ左図のようにはめ込んでください。



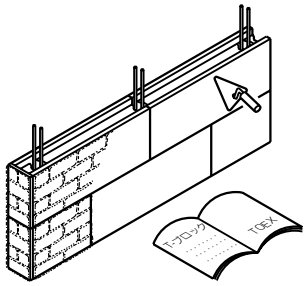
<注 意>

● ブラケットの取付位置を変えることで、棚の高さを簡単に変えることができます。

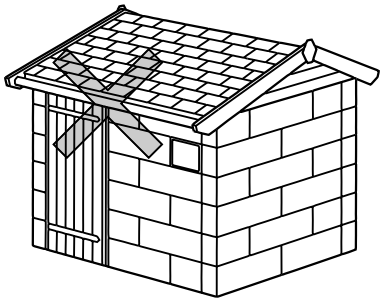


❷ 棚取付ブラケットに棚板を乗せ、φ4×30トラスタッピング1種ネジで固定してください。

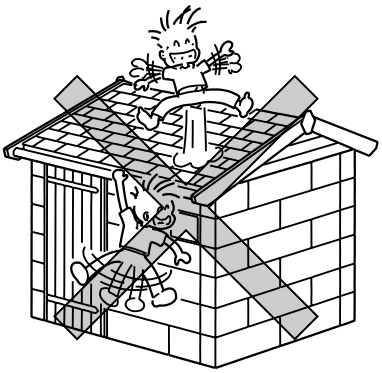
13. 施工上およびガーデンヌック使用上の注意点とお願い



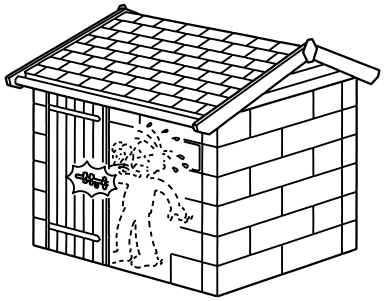
T-ブロックの施工および注意点は、「T-ブロック ラテル&ウォルズ取付説明書(取説コードB047」)参照してください。



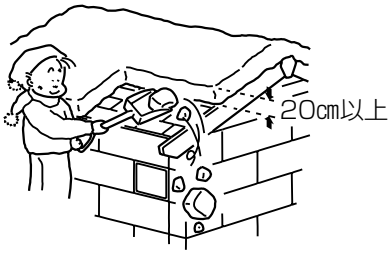
豪雪地での雨樋の使用はおやめください。



屋根の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。



ドア1型はガーデンヌック内部から錠の開閉をすることができませんので、ご注意ください。



積雪が20cm以上になりましたら、雪おろしを実施してください。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

施主様へ

- 1年～3年に一度、木材部分に防腐処理をして頂くことをお勧め致します。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード
B060
200102A